### 2024年度卒業論文

# 2020 年代設立の都市型水族館における現状と今後の展望 —AQUARIUM×ART átoa を事例に—

2025年1月

神戸女子大学家政学部家政学科 下山明日香

						頁
١.	は	ľ		め	に	 I
2.	対	象	۲	方	法	 2
3.	結				果	 5
4.	考				察	 12
5.	む	すび	ıc	かえ	て	 18
6.	謝				辞	 19
7.	参考	き文献・	ウェ	- ブサイ	<b>'</b> ト	 19
8.	カテ	- ゴリー	分析:	結 果 一 覧	氪 表	 21

#### 1. はじめに

水族館は生きた水生動物を中心とする博物館である。水生動物の生態や飼育方 法などについて調査・研究し、一般の人々が見られるよう展示している。水族館 を訪れる多くの人々は水族館を観光・集客施設として認識しているが、博物館法 では水族館を社会教育施設と位置づけている。日本動物園水族館協会によれば、 水族館には「種の保存」、「教育」、「調査・研究」、「レクリエーション」の4つの 役割がある。また世界の水族館が目指す役割について、堀田(2014)は「海洋 の保全を啓発することであり、繁殖、野外調査や生息地保全などの活動を通して 水生種を守ることであり、そのための教育や市民支援活動をすることである。水 族館の目指す社会的役割は、決して人々を楽しませるというエンターテイメント だけではない」と指摘している。欧米諸国では水族館の娯楽性や営利目的から離 れ、純粋に生き物の生態などを解説する展示方法へと切り替えている。谷(2019) は、「現在、欧米諸国を中心として、動物園・水族館には見世物的な娯楽性から 脱却し、動物福祉や種の保全を重視した教育・研究機能を強化していくことが求 められている」と述べている。また日本の水族館について、「人間による海岸環 境の改変や海洋環境への影響などは、施設の経営方針や、生き物が好きなスタッ フの志向性などのために語られることは少ない」と指摘している。その上で、「国 内で社会教育施設であるべきという水族館の当事者意識と、観光集客施設として の一般市民・社会からの期待の狭間に立たされている」としている。堀(1998) が言うように、「教育(エデュケーション)的な要素と娯楽(エンターテイメン ト) 的要素を加えた『エデュテイメント』性を追求し、面白さや楽しさをあわせ 持った学習施設とすること」が、これからの水族館には求められている。水族館

の社会的役割が重要視される中で、日本の水族館は社会的役割をどのくらい意識 し展示に反映させているのか、展示方法の工夫や社会的な取り組みに着目し、水 族館の社会的役割とその実態について明らかにしたい。

#### 2. 対象と方法

#### 2-1. 分析対象

2020 年代は日本における水族館の新規開業や大型リニューアルが相次いで いる。背景には水族館の「2020 年問題」がある。海水を扱うことから施設の劣 化が進みやすい水族館は、約 30 年で大規模改修や建て替えが必要となる。日本 の水族館の多くは 1990 年代に建設されており、2020 年代にリニューアルを余 儀なくされている。既に改修が始まっている水族館もある一方で、閉館・営業休 止した水族館もある。このような流れを受け、近年では都市型水族館が増えてい る。2020年代に日本で設立された水族館は確認できただけでも 10 館あるが、 この内7館が複合施設内にできた小規模な水族館である(表1)。これらの水族 館に大型の水槽はないが、来館者が多く見込める都市の中心部に立地している。 仮に経営が難しくなっても複合施設のテナントとして入っているため撤退する 際のコストが安いのが利点である。また展示における近年の傾向として、プロ ジェクションマッピング等のデジタル技術を活用した演出が増えている。こうし た展示方法は既存の水族館でも取り入れられ、水族館展示はさらに進化してきて いる。一方で、「水族館はどのような存在であるべきか」が改めて議論されてお り、SDGs への貢献や環境配慮、動物福祉という観点も重要なテーマになってい る。水族館の 4 つの役割をバランスよく果たすためには、地域との関係づくり

も必要であり、まちづくりや地域活性化における地域の交流拠点として、重要な 役割が期待されている。このような影響を受けて 2020 年代に設立された水族 館は、新しいエンターテイメントを提供しながら水族館の社会的役割を強く発信 しているのではないかと考える。

表 1.2020 年代に開館した水族館一覧

	名称	所在地	開館年月日	コンセプト
0	AOAO SAPPORO	北海道	2023 年 7 月 20 日	生命のワンダー みえないものがみえて くる
0	カワスイ川崎水族館	神奈川県	2020 年 7月 I 7日	世界の美しい水辺
0	アートアクアリウム 美術館 GINZA	東京都	2022 年 5 月 3 日	生命の宿る美術館
0	幼魚水族館	静岡県	2022 年 7月7日	ごきげんようぎょ! 世界初!幼魚専門の水 族館
0	SMART AQUARIUM SHIZUOKA	静岡県	2022 年 4 月 27 日	暮らしに寄り添うスタ イリッシュな水族館
0	AQUARIUM×ART átoa	兵庫県	2021年10月29日	劇場型アクアリウム
	神戸須磨シーワールド	兵庫県	2024 年 6 月 I 日	つながるエデュテイン メント水族館
0	みなとやま水族館	兵庫県	2022 年 7月 I 日	生きものと語ろう
	四国水族館	香川県	2020 年 6 月 I 日	四国水景
	DMM かりゆし水族館	沖縄県	2020 年 5月 25日	最新の映像表現と空間 演出を駆使した新しい カタチのエンタテイン メント水族館

注:コンセプトは各館の公式ホームページ、公式 Instagram による。 〇印は複合施設内にできた小規模水族館。

本研究では、2021 年に兵庫県神戸市に設立された AQUARIUM×ART átoo (以下、アトア)を対象とし、フィールドワークとインタビュー調査を実施した (表2)。アトアは、観光の中心地にある都市型水族館である。現在の来館者数は 200 万人を超え、観光・集客施設としての役割を十分に担っているといえる。アトアの最大の特徴は、「アート」をテーマとした企画や展示の数々である。館内では、現代技術によって作り出された幻想的な空間や、様々なアート作品を楽しむことができる。従来の水族館でみられるショー形式のイベントとは全く異なる、「アート」という新しいエンターテイメントの形を提供しているといえるだろう。また、館内では海洋生物の生態や環境問題に関する展示など、学習の機会となるような工夫も様々みられる。公式ホームページにおいても飼育生物に関する研究結果を数多く公開しており、アトアが教育や研究にも力を入れていることが見てとれる。

表 2. 調査対象施設の概要

名称	AQUARIUM×ART átoa		
所在地	兵庫県神戸市中央区新港町7番2号		
開園年月日	2021年 10月 29日		
· 管理者(2022 年度)	株式会社アクアメント		
総面積	延床面積 約 5,799 ㎡ 敷地面積 2,665 ㎡		
合計飼育数(2022年度)	146 種 4,28  点		
コンセプト	劇場型アクアリウム		

注:コンセプトはアトア公式サイトによる。

資料:日本動物園水族館協会(2023)より筆者作成。

このようにアトアは、地域産業への貢献や新たな水族館の楽しみ方の提供を行うと共に、研究や教育に関する取り組みも行っている。アトアの実態を調査・分

析することにより、日本の新しい水族館の現状と今後期待される役割について考察したい。

#### 2-2. 分析方法

本研究では、フィールドワークとインタビュー調査を行った。フィールドワークとして、2024年 II 月にアトアを訪ね、館内の展示を中心に観察した。その上で、営業課のF氏、施設課長で学術推進・支援チームのI氏に半構造化インタビューを実施した。インタビューはアトアのバックヤードにある会議室で行い、協力者の許可を得て録音し、逐語録を作成した。その後、逐語録のコーディングを行い、内容の類似性に沿ってカテゴリーを生成し考察の対象とした。

#### 3. 結果

#### 3-1. 施設概要

アトアは兵庫県神戸市に所在する水族館であり、延床面積約 5,799 ㎡、敷地面積 2,665 ㎡である。また、2022 年度時点で 146 種 4,281 点の生物を展示している。2024 年 3 月には、3 階の展示ゾーン「FOYER」の全面改装を実施している。アトアは、アクアリウム、フードホール、ブライダルデスクで構成された複合文化施設である「神戸ポートミュージアム」内にある。「神戸ポートミュージアム」は神戸三宮再整備事業に伴うウォーターフロント再開発の一環で、ウォーターフロントエリアの新しいランドマークとして建設された。2 階から 4 階のフロアがアトアとなっており、水族館を楽しんだ後はフードホールで食事を楽しむこともできる。

#### 3-2. 分析結果

内容を意味ごとに分節化した結果、107のコードが生成された。このコードを類似した内容ごとにまとめた結果、23のサブカテゴリーから【水族館の基盤となる取り組み】【独自の世界観の創造とアートの発信(独自性)】【基盤と独自性に基づく水族館づくり】【研究成果の開示】【あらゆる媒体を用いた集客・宣伝】【地域との関わり】【集客の成果】【課題】の8カテゴリーが抽出できた」。以下、カテゴリーを【】、サブカテゴリーを[]、コードを「」で示した。

【水族館の基盤となる取り組み】には、[安全な運営][外部との共同研究事業]
[正しい情報の発信][種の保存]という4つのサブカテゴリーが抽出された。
[安全な運営]として、「計画段階から、生き物に影響のないような光の演出にするという根本的な考えがあった」ことが明らかとなった。実際の展示では、「球体水槽のレーザーは 10 分おきに演出するが、1 番強い光は水槽に当たらない、もし当たったとしても生き物が居るところまでは下げない仕組みになっている」という動物福祉の考え方に基づく工夫がされていた。[外部との共同研究事業]として、「アトアの飼育生物を対象に、大学の研究室や企業との共同研究を行っている」という研究への姿勢が明らかとなり、飼育生物に対する理解の深化に努めていた。[正しい情報の発信]として、「『最も正しいとされることをしっかり表現していく』という基本姿勢があり、生き物の情報は文献を用いて取り入れるようにしている」という、生物学的根拠に基づいた正確な情報を取り扱う姿勢も見受けられた。その上で、「興味を持ってもらえるような見せ方・聞かせ方を心

<sup>「</sup>分析結果の詳細は巻末のカテゴリー分析結果一覧表を参照のこと。

がけている」こともわかった。[種の保存] として、「ブリーディングローン<sup>2</sup>の 一環として、血統管理した動物の飼育や他館への提供を行っている」という取り 組みもされていた。

【独自の世界観の創造とアートの発信 (独自性)】には、[幻想的な空間を光と 生き物によって創り出す] [アートを通して生き物への関心や学習意欲を持って もらえるように工夫している]という2つのサブカテゴリーが抽出された。[幻 想的な空間を光と生き物によって創り出す] ために、 アトアでは展示に様々なエ 夫を凝らしている。前提として、「アトアは、実際の世界の再現ではなく、おと ぎ話のような夢の世界を表現している」という点が挙げられ、「他の水族館にあ るような目玉となる生物や大規模な展示がない代わりに、アートと融合した世界 観を創り出した」ことがわかった。アトアには、[アートを通して生き物への関 心や学習意欲を持ってもらえるように工夫している〕という特徴があり、「アー トや文化を発信するための取り組みの一つとして、企画展を開催している」こと がわかった。「アートやエンタメを目的に来た人にも、生き物や環境への関心の 間口を広げてもらい、少しでも気づきを得て帰ってもらいたいと思っている」と いう考えが見られた。そのために、「展示全般において、何か気づきを得てもら えるような演出や思わず知的好奇心を刺激されるような工夫を行っている」こと が明らかとなった。

【基盤と独自性に基づく水族館づくり】には、[わかりやすく綺麗、かつ学術的なデザイン][学習機会を増やす工夫][子どもを対象とした教育の実施][生

<sup>&</sup>lt;sup>2</sup> ブリーディングローンとは、日本動物園水族館協会が実施する取り組みで、計画的 に繁殖を行うために施設同士で動物を貸し借りすることである。

き物に関心を持つためのきっかけ作り〕「体験による学び〕「2024 年 3 月の 「FOYER」改装により、客の滞在時間が延長した] [入場料の値上げによるサー ビスの質の向上]という7つのサブカテゴリーが抽出された。[わかりやすく綺 麗、かつ学術的なデザイン]を語る上で欠かせない展示として「BLUE CARBON」 がある。アトアは「海中でアマモなどの海草が CO。を吸収する仕組み『ブルー カーボン』に着目し、2022 年 3 月から展示を始めた」という経緯がある。「ア トアらしい綺麗でわかりやすいデザインで表現したいという思いがあり、ブルー カーボンの情報をまとめるのに紆余曲折した」というエピソードが語られた。ま た、アトアは種名板・魚名板のデザインに力を入れている。「種名板・魚名板は、 生物のシルエットに注目してほしいポイントを色づけし、生息地と解説を加えた デザインとなっている」ため、必要な情報に加えて面白い内容を伝えることがで きていた。[学習機会を増やす工夫]として、企画展が開催されている。その中 でも、「企画展『プラスチックの海~変えられる未来~』は、アトアでは初めて の環境問題を取り上げた企画展であり、マイクロプラスチックなどによる海ゴミ 問題について考えることをテーマに開催した」ことがわかった。企画展では、「作 品展示に加え、3 種類のワークショップを開催した」。また、「ワークシート 『AQUARIUM×STUDY』は、設問に答えながら館内を巡ることができるプログ ラムである。解説付きの解答をダウンロードすることができる」という取り組み もある。[子どもを対象とした教育の実施]として、ワークシートは大いに活用 されており、「ワークシートは、学校教育の一環で来館する団体客などに無料配 布している」ことがわかった。[生き物に関心を持つためのきっかけ作り] とし て、「水槽内の掃除をする生き物にも注目してもらえるように、『お掃除係』の魚

名板を掲示している」ことがわかった。「巨大な本棚を中心としたスペース『átoɑ LAB』には、7 つのテーマに沿って本が分類・設置されている」ことや、「体験 型アートを楽しむ『GALLERY』では、五感を使って楽しむことができる展示を している」ことも明らかとなった。[体験による学び] として、「有料の体験プロ グラムとして、ゾウガメとピラルクへの餌やり体験を実施している」ことや、「実 際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う『フィーディングタイム(給餌解説)』 を毎日決まった時間に行っている」ことがわかった。「世界カワウソの日に実施 した給餌解説では、アンケートを実施。解説前は『可愛い、飼ってみたい』など の意見が多かったが、解説後は『飼うのではなく守っていこう』という意見に変 わった」という教育効果も確認できた。[2024年3月の『FOYER』改装により、 客の滞在時間が延長した]という成果があり、「『FOYER』改装では、多数の本棚 と 2,500 冊の本が設置された」という改良が行われた。「『FOYER』は、『MIYABI』 『PLANETS』とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである」という特徴があ る。「『FOYER』改装後、利用客の平均滞在時間が I 時間程度から 2 時間程度に 延長した」ことがわかった。[入場料の値上げによるサービスの質の向上]とし ては、「2024 年 3 月より顧客満足度向上のため、入場料を 2,400 円から 2,600 円へ引き上げた」ことが明らかとなった。

【研究成果の開示】には、[公式サイトに研究成果を載せている] というサブカテゴリーが抽出された。載せている理由として、「エンタメばかりの水族館ではないことを示すために、比較的目につきやすいページに研究成果を載せている」ということがわかった。

【あらゆる媒体を用いた集客・宣伝】には、[SNS による情報発信] [有名コン

テンツや著名人とのコラボは、大きな反響を呼んだ「親しみやすいキャラクター」 「独自の世界観を活かしたロケーションレンタルサービスの提供〕「魚朱印を実 施する水族館として登録されている]という 5 つのサブカテゴリーが抽出され た。[SNS による情報発信]では、「SNS の中でも、ビジュアルが重視される Instagram には特に力を入れている。おしゃれで思わずいいねを押したくなる 写真を目指し、生き物を空間ごと撮るなどの工夫や写真加工を取り入れている」 といった工夫が取り入れられていた。「SNS 投稿では、フォロワーが見たいと 思っているものを考えることが難しい」という課題に対応するために、「日々飼 育員へのヒアリングを行いながら SNS 投稿を行っている。飼育員では当たり前 のことが一般の人からすると物珍しく写ることもあるため、そのギャップを面白 く表現できるような形で投稿している」という工夫もしていた。留意点として、 「正しい内容が投稿できているかということを意識しながら SNS 投稿を行って いる」ことが明らかとなった。[有名コンテンツや著名人とのコラボは、大きな 反響を呼んだ]ことの具体例として、「『古代エジプト文明展』や『クリスタル・ プラネット-海底のファンタジーアクアリウム-』(FINAL FANTASY BRAVE EXVIUS コラボ) はかなりの反響があった」ことが挙げられた。「『古代エジプト 文明展』では有名考古学者とコラボし、トークショーを開催した」という取り組 みも見られた。[親しみやすいキャラクター]を取り入れた例として、「2024年 10月 29日にマスコットキャラクター『スピ』が誕生。今後はキャラクターを 活かしたイベントを企画予定」していることや、「アトアチャッターでは、モニ ターに映し出された4匹のキャラクターと会話が楽しめる」ことが挙げられた。 「アトアチャッターは、客がコミュニケーションをとれるツールとして考えられ

た」という背景があることがわかった。[独自の世界観を活かしたロケーションレンタルサービスの提供]として、「館内 8 ゾーンをフォトウェディングの撮影のために提供。貸し切りのため好評で、VOYAGE KOBE(ブライダルデスク)との共同事業。水族館好きの人がよく利用する」というサービスがあることがわかった。さらに、「YouTube の商用利用や MV 撮影のためのレンタルも行っている」ことが明らかとなった。また、アトアは[魚朱印を実施する水族館として登録されている]ため、魚朱印集めのために訪れる客もいることがわかった。

【地域との関わり】として、[地元産業への貢献]というサブカテゴリーが抽出された。具体例として、「felissimo chocolate museum やみなと温泉蓮などの周辺施設とのセット券を販売している」ことや、「地元企業と共に商品開発を行い、コラボグッズを販売している」ことが挙げられた。

【集客の成果】には、[来館者数や利用時間、利用回数が増加した] [若い女性に人気] という 2 つのサブカテゴリーが抽出された。[来館者数や利用時間、利用回数が増加した] という成果が得られており、「開館から 2 年 9 カ月で来館者数が 200 万人を超えた」ことや、「2024 年大規模改装により、来館者の滞在時間が 1 時間から 2 時間程度に延長した」ことがわかった。また、[若い女性に人気] であり、「20~40 代女性の利用者が多い」ことも明らかとなった。

【課題】には、「スタンプノートはこだわったデザインだが、利用者はそれほど多くない」というサブカテゴリーが抽出された。「スタンプノートはお土産として持ち帰りやすいようデザインにかなりこだわって作られた」という努力が見られた一方で、「スタンプノートは、入館者の約 1%が利用している」という現状であることがわかった。

#### 4. 考察

#### 4-1. 運営基盤に基づいた水族館づくり

アトアは [正しい情報の発信]をすることを基本姿勢としており、文献などから得た専門的な知識を用いることを基盤としている。生物の生態調査・研究にも積極的に取り組んでおり、その一環として大学や企業など [外部との共同研究事業]も行っている。また、アトアは日本動物園水族館協会が行うブリーディングローンにも取り組んでいる。生物の絶滅や近交劣化を防ぎ [種の保存]を促進することは、施設運営の安定だけでなく動物福祉の向上にも繋がる。この動物福祉の観点は、アトアの生物展示に用いられる照明にも取り入れられている。生物に影響のない照明や技術を活用し、[安全な運営] に努めている。

このように、[正しい情報の発信] [外部との共同研究事業] [種の保存] [安全な運営] は、運営を進めていく上で重要な【水族館の基盤となる取り組み】である。これらの取り組みが土台となることで、水族館づくり(事業)を行うことが可能になると考えられる。【基盤と独自性に基づく水族館づくり】の具体例として、以下の3つを挙げる。

1つ目は、体験プログラムとして提供されている餌やり体験と給餌解説である。 この企画は各生物の生態を深く理解していなければ効果的に実施することがで きず、実施するためにはわかりやすく伝える技術が必要となる。アトアは以前カ ワウソの給餌解説によって多くの参加者の考え方が変容したという成果を得て おり、運営基盤が確立されていることの表れと考えられる。

2 つ目は、スタディプログラムとして提供されているワークシートとスタンプ ノートである。これらは館内を見て回りながら学習する目的で販売・配布してい るものであり、様々な視点から生物や海洋環境を理解することができるよう工夫 して作られている。

3つ目は、アトアの代表的な展示「BLUE CARBON」と企画展「プラスチックの海~変えられる未来~」である。これらは環境問題をテーマとした内容となっており、海洋環境の理解と保全への取り組みについて学ぶことができる。アトアが生物の生態だけでなく、環境保全の視点も取り入れながら研究・調査に取り組んでいることがわかる。

#### 4-2.独自性に基づいた水族館づくり

従来の水族館は、ショー形式のイベントなど生物をメインとしたレクリエーションを行ってきたが、アトアは「アートと水族館の融合」という全く新しい形の体験を提供している。アトアは、【独自の世界観の創造とアートの発信(独自性)】を土台として成り立っている。アトアが、【基盤と独自性に基づく水族館づくり】を実現できている理由としては、以下の3つが考えられる。

Ⅰつ目は、いくつかのテーマに沿った世界観を創り上げているという点である。 アトアにはテーマごとに 8 つの展示ゾーンがある。光や音、生物といった様々な要素の組み合わせの違いによって、宇宙と深海をイメージした「PLANETS」 や和風な雰囲気の「MIYABI」など、全く異なる世界観を味わうことが可能になっている。この体験が、[生き物に関心を持つためのきっかけ作り]になっていると考えられる。

2つ目は、アート的な視点や技術を展示にさりげなく取り入れている点である。 例えば、生物展示における種名板・魚名板は、生物のシルエットを中心にまるで Ⅰつのアート作品のような洗練されたデザインになっている。壁面アート「BLUE CARBON」は専門的な内容でありながら、アート性を持たせることで理解しやすくなっている。このような[わかりやすく綺麗、かつ学術的なデザイン]には、アトアの独自性が大きく反映されていると推察できる。

3つ目は、来館者自身にアートを体験してもらう工夫を取り入れている点である。例えば、「GALLERY」という展示ゾーンでは、五感を使って動物の特徴を体感することができる。企画展のワークショップでは、実際にアート作品を作ることができる。これは[学習機会を増やす工夫]や[生き物に関心を持つためのきっかけ作り] に繋がってくると考えられる。

#### 4-3. 基盤と独自性に基づく水族館づくり

上記4-1、4-2で示したように、アトアは研究・調査・動物福祉といった 【水族館の基盤となる取り組み】と、【独自の世界観の創造とアートの発信(独 自性)】の2つの土台に支えられていると考えられる。すなわち、【基盤と独自性 に基づく水族館づくり】が、アトアらしさであると考察する。

アトアにおける全ての事業は、基盤と独自性によって成り立っている。その中でも、このアトアらしい水族館づくりの形を最も反映しているのが、「FOYER」という展示ゾーンではないかと考える。「FOYER」は、本棚と 2,500 冊の本、多数のアート作品によって構成されており、学習とアートを同時に体験できる空間となっている。本もアートの一部として空間に馴染んでいることで、読書という人によっては堅苦しいと感じる行為も親しみやすいものに感じられるようになっていると思われる。

#### 4-4. 研究成果の開示

アトアは、【水族館の基盤となる取り組み】として大学や企業、他の動物園・水族館との共同研究を行っている。また、公式ホームページにおいて、論文や共同研究、研究発表、講演などの情報を公開している。ページ冒頭には、「水族館としての生きものの飼育・展示のほか、社会的役割として生態調査・研究にも取り組んでいます。それらの研究成果を広く開示することで、今後の生きものの保護・保全活動や環境整備に役立ててまいります」と記載されている。アトアは、水族館に期待される社会的役割を重要視しており、【研究成果の開示】という形で調査・研究した内容を一般市民に伝えているといえる。

I氏はインタビューにおいて「公式ホームページに研究成果を載せることは開館当初から決めていた」と語っており、生態調査・研究という取り組みは水族館を運営する上で重要な基盤になっていることがわかる。同時に、「エンタメばかりの水族館ではないことを示すために、比較的目につきやすいページに載せている」との考えも持っており、【あらゆる媒体を用いた集客・宣伝】という部分にも繋がってくる。ここでI氏が用いた「『比較的』目につきやすい」という表現には、研究・調査に関する情報を目立たせすぎないという思いが隠されていると考える。理由として、アトアは「20~40代女性の利用者が多い」という点が挙げられる。若い女性を始めとした来館者の多くは、余暇を楽しむ目的で水族館を訪れることが多い。来館前に見た公式ホームページに専門的な内容が大きく掲載されていた場合、アトアに対して堅苦しい印象を抱いてしまう可能性がある。興味を持った人が「比較的」簡単に情報を閲覧することができるという点が重要である。客層に合わせた情報発信の仕方や宣伝の工夫は、アトアの強みと捉えるこ

とができる。

#### 4-5. 集客・宣伝による効果

アトアは、若者や女性をメインターゲットとし、多くの集客に成功している。 その理由としては、以下の 3 点が考えられる。

Ⅰつ目は、SNSを上手く活用できている点である。アトアは情報発信をする際に、日常の様子や時事的ニュースは X、おしゃれな写真は Instagram というように媒体を使い分けている。また、内容が偏らないように常に客観的視点を意識していることも理由といえる。

2 つ目は、アトアが神戸港周辺に所在し、「神戸ポートミュージアム」という 若者向けの複合施設内に在るという点である。神戸港周辺は有名な観光スポット であり、訪れる観光客も多い。「神戸ポートミュージアム」には、アトアの他に、 複数のおしゃれな飲食店が立ち並ぶフードホールと、結婚式に関する相談を受け るブライダルデスクが入っており、いずれも比較的若い層をターゲットとしてい る。これらの施設はアトアとも連携しており、集客において相乗効果が狙えると いう利点がある。

3つ目は、神戸市内の観光施設や百貨店などと提携したサービスの提供や、地元企業と共同のグッズ開発を行っている点である。外部と幅広く連携することで、今までアトアを知らなかった層への宣伝も可能となる。

以上のように、【あらゆる媒体を用いた集客・宣伝】と【地域との関わり】に よって、現在の【集客の成果】を得ることができたと考える。

#### 4-6. 今後の課題

アトアの今後の【課題】は、教育的な取り組みをより構造化していくことだと考える。スタンプノートは、デザインや内容に工夫を凝らした教育プログラムであるにも関わらず、利用者は入館者全体の約 1%と少ない状況である。教育プログラムは子どもには人気だが、メインターゲットである若者や女性はほとんど利用していないと推測される。若者や女性の多くは【独自の世界観の創造とアートの発信(独自性)】に強い関心を持って訪れるため、【水族館の基盤となる取り組み】に対して目が向きづらいのではないかと考えられる。また、【あらゆる媒体を用いた集客・宣伝】の方法が、ターゲット層の興味を偏らせている可能性も考えられる。子どもの保護者や同伴者も巻き込んだプログラムや、若者や女性の目にも触れやすい情報の発信など、取り組みを構造化していくことが必要ではないかと考察する。

以上を踏まえると、各カテゴリーは図 I に示した関係性として仮説的に析出することができると考える。

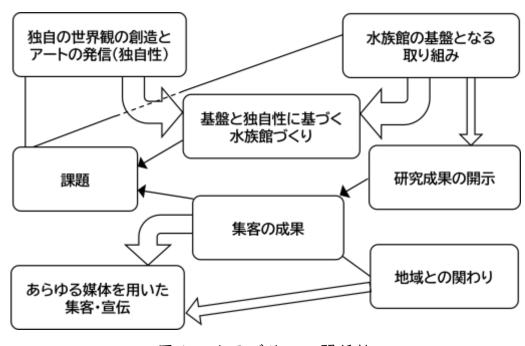


図 1. カテゴリーの関係性

#### 5. むすびにかえて

本論文ではアトアを事例に、日本の新しい水族館の現状と今後の展望を明らか にしてきた。その結果、近年設立された新しい水族館は、最新のデジタル技術を 活用した新しい形のエンターテイメントを提供すると共に、生物への関心や学習 意欲を高められるような工夫を積極的に取り入れていることが明らかとなった。 おしゃれな雰囲気や落ち着いた空間を演出することで、若い女性を中心に人気の スポットとなり、地域の活性化にも貢献していると考える。一方で、能動的な学 習の機会は子どもを中心に提供されることが多く、大人を対象とした教育は不十 分な可能性が考えられる。梶(2021)は、「従来からの生物展示に加え『生物に 関わる地域の自然環境・文化・歴史などを反映させる.』『自分事となるような基 礎体験を伴う質の高い教育と地域資源の保全を実施する.』『地域外からの外貨獲 得により地域循環経済に関わる事』これらが地域経済・地域社会・地域資源を持 続的に活用できる水族館の役割である」と述べている。幅広い世代が水族館のエ ンターテイメントを楽しむと同時に、生態系や環境問題にも関心を持てるような 取り組みを推進していくことが必要ではないかと考える。

本論文は、アトアという I つの水族館を対象とした事例研究のため、他の水族館の実態や課題などについては、今後さらなる調査が必要である。本研究の結果が、水族館の社会的役割について考えるきっかけになれば幸いである。

#### 6. 謝辞

調査をご快諾くださった AQUARIUM×ART átoa 様に心より感謝申し上げます。水族館について非常に多くのことを学ばせていただきました。また、本論文を作成するにあたり、指導教員の大淵裕美先生には、テーマの着想から、調査、論文執筆まで多くのご指導をいただきました。心より感謝申し上げます。

#### 7. 参考文献・ウェブサイト

#### ◆文献

梶明広、2021、「持続可能な地域社会形成のための水族館の役割」『日本海水学会誌』75巻3号:128-134

堀由紀子、1998、『水族館のはなし』岩波新書

堀田拓史、2014、「水族館の役割と世界水族館会議」、杉田治男編、『水族館と海の生き物たち』恒星社厚生閣:7-11

公益社団法人 日本動物園水族館協会、2023、『日本動物園水族館年報(令和 4 年度)』

杉田治男編、2014、『水族館と海の生き物たち』恒星社厚生閣

谷綺音、2019、「水族館が表現する『海』――瀬戸内海地域を事例に――」『地理科学』74巻2号:49-69

#### ◆ウェブサイト

AQUARIUM×ART átoa 公式ホームページ、https://atoa-kobe.jp/ (2024 年 12月 25日アクセス)

- 日本動物園水族館協会、https://www.jaza.jp/about-jaza/four-objectives (2024年 | 2月 25 日アクセス)
- 日本動物園水族館協会、https://www.jaza.jp/about-jaza/fourobjectives/protection-nature (2024年 12月 25 日アクセス)
- 文化庁博物館総合サイト、https://museum.bunka.go.jp/museum/(2024 年 12月 25 日アクセス)
- 日経 BP、https://project.nikkeibp.co.jp/hitomachi/atcl/study/00105/ (2024 年 12 月 25 日アクセス)

## 8. カテゴリー分析結果一覧表

カテゴリー (8)	サブカテゴリー(23)	コード (107)
		計画段階から、生き物に影響のないような光の演出にするという根本的な考えが
		あった
		球体水槽のレーザーは10分おきに演出するが、1番強い光は水槽に当たらない、も
	安全な運営	し当たったとしても生き物が居るところまでは下げない仕組みになっている
		館内の水槽は、客側から見ると明るいが、魚にとってはまぶしくないつくりになっ
		ている
		給餌解説は来館者と担当者本人の安全にも気をつけながら行う
		アトアの飼育生物を対象に、大学の研究室や企業との共同研究を行っている
	外部との共同研究事業	運営会社が同じ「SMART AQUARiUM SHIZUOKA」「四国水族館」と連携した事業を
水族館の基盤とな		行っている
る取り組み		「最も正しいとされることをしっかり表現していく」という基本姿勢があり、生き
		物の情報は文献を用いて取り入れるようにしている
	正しい情報の発信	興味を持ってもらえるような見せ方・聞かせ方を心がけている
		誤解を招く表現をしないように、不確実な情報に関しては「これは確実じゃないで
		すけど」などと前置きを行う
		日本動物園水族館協会のブリーディングローンという取り組みに参加している
		ブリーディングローンの一環として、血統管理した動物の飼育や他館への提供を
	種の保存	行っている
		公表している繁殖例を紹介するために、パルマワラビーの赤ちゃんの看板を掲示し
		ていた
		アトアは、実際の世界の再現ではなく、おとぎ話のような夢の世界を表現している
		他の水族館にあるような目玉となる生物や大規模な展示がない代わりに、アートと
	幻想的な空間を光と生き 物によって創り出す	融合した世界観を創り出した
		企画展はアトアのイメージに合うものを前提として考えている
		コンセプトは「劇場型アクアリウム」であり、初期からのキャッチコピーである
		「劇場型アクアリウム」というコンセプトを説明するために、「アクアリウムと
		アートが融合した新感覚の都市型水族館」という表現を用いている
		展示や演出は、おとぎ話の世界に入っていくような没入感を意識して作っている
		生き物本来の体の色などが見える照明を選んでいる
<b>みちの単田知の創</b>		アートや文化を発信するための取り組みの一つとして、企画展を開催している
独自の世界観の創		アートやエンタメを目的に来た人にも、生き物や環境への関心の間口を広げてもら
造とアートの発信		い、少しでも気づきを得て帰ってもらいたいと思っている
(独自性)		展示全般において、何か気づきを得てもらえるような演出や思わず知的好奇心を刺
		激されるような工夫を行っている
		他の動物園や水族館に比べて、生き物に興味を持って訪れる人よりもアートやエン
		タメを求めて訪れる人の方が多い
		展示物や企画展など、形として残るものはしっかりとディスカッションしている 独りよがりな伝え方にならないよう、どうしたらちゃんと伝わるか、トライアンド
	ている	無りよかりな伝え方にならないよう、とうしたららゃんと伝わるか、トライアント  エラーでやっていきたい
		エフー(べっていさにい  どういう企画展をしたら面白いか、どうしたら客に楽しんでもらえるか考えて企画
		とういう企画展をしたら面白いか、とうしたら各に来しん(もらえるか考え(企画    を進めている
		テーマ設定や表現の方法は難しいが、常に工夫している  「アートを探す」という目的で、館内の至る所に額縁を展示している
		ノートで1末り」といり日的し、昭内の王の川に領称で展示している

海中でアマモなどの海鼻が(たら、砂塊でする性組み、ドブルーカーボン) に着目し、2022 年3月から長原を始めた。 アトアらしい時間でわかりですいデザイン 英規したいという思いがあり、ブルーカーボンの展示は、当初AII服総が程度の函標にて行う子変だったが、壁一 フルーカーボンの展示は、当初AII服総が程度の函標にて行う子変だったが、壁一 ブルーカーボンの展示は、当初AII服総が程度の函標にて行う子変だったが、壁 一 グルーカーボンしたがという思いから展示することを決めた 権名板・角名板は、生物のシルエットに注目してほしいポイントを色づけし、生息 地と解認を加えたデザインとなっている 権名板・角名板は、人数と時間をかけて作成とた、アートを開達させて作られている 性名板・角名板は、人数を時間をかけて作成された。 アーアは関係した 作品展示に加え、3種類のワークショップを開催した 作品展示に加え、3種類のワークショップを開催した 作品展示に加え、3種類のワークショップを存した。 アークショップの「農産・産り、アークショップの「農産・産り、アークショップの「農産・産り、アークショップの「農産・産り、アークショップの「農産・産り、アークショップの「農産・産り、アークショップの「農産・産り、アークショップの「産り、産り、アークショップの「アークショップの「産り、産り、アークショップの「農産・産り、アークショップの「産り、産り、アークショップの「産り、産り、アークショップの「産り、産り、アークショップの「産り、産り、アークショップの「産り、産り、アークショップの「産り、産り、アークショップの「産り、アークショップの「産り、アークショップを開催した」なが多り、アークショップを開催した。 東京海の海道では、大砂・ヘルメットを設定するをおと共に、貝殻から消しゴムを作るアークショップを開催した。 東京海の海道では、野崎市をディーク・アールに、デながら、加速を関係をでき、アークショップを開催した。 アーグショップを開催した。 東京海 原子 フィブル アーク に加速 で アークショップを開催した。 東京海 原子 フィブル アークショップを開催した。 東京海 原本 アークショップを開催している。 アーグ・アークショップを開催している。 アーグ・アークショップを開催している。 アーグ・アークショップを開催している。 アーグ・アーグ・アーグ・アードを表して、短伸用を向からでは、18月には、「アーク・アーク・アーク・アーク・アーク・アーク・アーク・アーク・アーク・アーク・			
アトアらい、時間でわかりやすいデザインで表現した。 カカボンの簡素をよりあるのに移金曲はした。 フルーカーボンの展示は、当初AII服総は健康の高値にで行う予定だったが、壁一部の手がいて行うこととった。 フルーカーボンの展示は、当初AII服総は健康の高値にで行う予定だったが、壁一部の手がしたが入りためた。 コラルで行うことととった。 フルーカーボンは一般的にあまりかられている。資産であるため、まずは頭に入れてもいたが、砂・角を吹きを提かた。 種名板、角名板は、生物のシルエットに注目してはしいポイントを色づけし、生息性を解析を加えたデザインととつている。 一種名板、角名板は、水鉄館として伝えたい基本内容に、アートを間違させて作られている。 である。「プラスチャクの海ー変えられる未来・」は、アトアでは効かての環境関係を取り上げた金島形であり、マイクロプラスチャクから作られた点の型に色付けをし、オリンナル作品を作る。 フークショップの: アーチィストと直接に迎え、海ゴを使ったオリジナル工作をする。 フークショップの: アーチィストと直接に迎え、海ゴを使ったオリジナル工作をする。 フークショップの: アーチィストと直接に迎え、海ゴを使ったオリジナル工作をできる。 受エーア・「利田に CARBON」は、公式IPからデータのダウンロードが可能で、自由に送で使うことができる。 受エーア・「利田に CARBON」は、公式IPからデータのダウンロードが可能で、自由に送で使うことができる。 受エーア・「利田に CARBON」は、公式IPからデータのダウンロードが高に、自由に送で使うことができる。 受エーア・「利田に CARBON」は、クークシートの異面にも記憶されている。 オクラークショップを開催した。 展楽調像下展子ウステップを開催した。 東楽調像下展子ウステップを開催した。 東楽調像下展子で大力・アップを開催した。 フークショップを開催した。 フークショップを開催した。 東楽調像下展子でステップを開催した。 東楽調像下展子でステップを開催した。 フークショップを開催した。 「大きな様を持つてトンシートと関係によること」に、「お棒除魚」の魚名板を指している。 フークショップを開催した。 フークショップを開催した。 フークショップを開催した。 「カードのでは、大きなが一般を使って来るでは、「お棒除魚」の魚名板を指している。 フークショップを開催した。 フークショップを開催した。 「カードのでは、大きな様とから、「お棒除魚」の魚名板を指している。 フークショップを開催した。 フークショップを開催している。 フークショップを開催している。 フークショップ・トに関係したのものよりの子では、大きなが、関連といいのより、日本ではいいんと、一般を使っている。 フークショップ・トに関係したとが情報を使っている。 フークンプ・トに関係したとが情報を持ち、アーイ・アンクタイム (結解解説のクイミング) は単れの変に関係していいる。 フークのでは、「利用なの、利用なのでは、1911年の魚、水が洗して料ででは、「1910年の魚、インデンシカウウソには、「1910年の魚」が洗し上が開催を表でが洗しまり回れる。 フークのでは、1911年の魚、利力を表しましまりままままままままままままままままままままままままままままままままま			海中でアマモなどの海草がCO <sub>2</sub> を吸収する仕組み「ブルーカーボン」に着目し、2022
カーボンの原報とまとめるのに転き金折した。			年3月から展示を始めた
プルーカーボンの展示は、当知月用底対程度の面積にて行う予定だったが、壁一面がですがイン 学術的なデザイン 学術的なデザイン を発展して発うまととなった プルーカーボンは一般的にあまり知られていない言葉であるため、まずは頭に入れてからいたいという。 他名板は、東京級は、生物のシルエットに注目してほしいポイントを色づけし、生息地と解認を加えたデザインとなっている。 他名板は、承珠館として伝えたい基本内容に、アートを関連させて作られて金属は、「カンサインとのでは、大きに関してはしいポイントを色づけし、生息を地と解説を加えたデザインとなっている。 一種名板、魚名板は、水鉄館として伝えたい基本内容に、アートを関連させて作られて金属膜(デクラスケックの海ー度よられる未来・)は、アトアでは初かての環境問題を取り上げた金属膜であり、マイクロプラスチックから作された。金属膜(デクラスケックの海ー度よられる未来・)は、アトアでは初かての環境問題・を取り上げた金属膜であり、マイクロプラスチックから作された魚の型に色付けをし、オリジナルに集を作る フークショップの: 液臓のフークショップを開催した。フークショップの: 液臓がの一分スチックから作された魚の型に色付けをし、オリジナルに発を作る フークショップの: 液臓がの一分及が多く適用に多くででは、カーランコのよりでは多くでのよったができる。 要面デート 「BULE CARRON」は、カーカードの子とのよりでは一般では、カーランコのようと関係した。 東京機関を再とアラスチックに加工する企業と共に、再まプラスチックのから作るフークショップを開催した。 東京側をディア・フラル・ 1 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)			アトアらしい綺麗でわかりやすいデザインで表現したいという思いがあり、ブルー
わかりやすく綺麗、かつ 学術的なデザイン 一・			カーボンの情報をまとめるのに紆余曲折した
プルーカーボンは一般的にあまり知られていない言葉であるため、まずは頭に入れてきないたいという場がの心を描することを決めた。		わかりやすく綺麗、かつ	ブルーカーボンの展示は、当初AI用紙3枚程度の面積にて行う予定だったが、壁ー
学術的なデザイン  プルーカーボンは一般的にあまり知られていない言葉であるため、まずは頭に入れてもらいたいという風味から展示することを決めた 権名版・魚名版は、生物のシルエットに注目してはしいポイントを色づけし、生息 地と解放を加えたデザインとなっている 権名版・魚名版は、水族館として伝えたい基本内容に、アートを関連させて作られている 権名版・魚名版は、人数と時間をかけて作成された 企画版「プラスチックの海ー変えられる未来~」は、アトアでは初めての環境問題を取り上げた金融版であり、マイクロプラスチックなどによる海ゴミ問題について 考えることをデーでは開催した アークショップで、通識のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナル作品を作る フークショップで、画像ボラテの見数から第して出た他のフェルドルを作る フークショップで、画像ボラテの見数から第して出たを作る フークショップで、画像ボラテの見数から第して出たを作る フークショップで、画像ボラテの見数から第して出たを作る フークショップで、画像ボラテの見数から第して出たを作る フークショップで、画像ボラウの見数からボース・ドゥを作る フークショップで、画像ボラウの見数からが、ロードすることができる プログラムである。解説付きの解答をゲウンロードすることができる プログラムである。解説付きの解答をゲウンロードすることができる プログラムである。解説付きの解答をゲウンロードすることができる プログラムである。解説付きの解答をよりついまでは、表でも使うアークショップを開催した アークショップを開催した アークショップを開催した フークシードは、学校教育の一環で未能する自体をなどに無料配布している 本タテ貝の養殖で出た液から・ルメットを製造さる会社と状に、具長から消してムを作るワークショップを開催した アークショップを開催した アークショップを開催した フークショップを開催した フークショップの画では大能する自体をなどに無料配布している 表面の影響とデース・データントは、特別利用している カーシートは、特別のの情報と行う自体を表が多い フーラシートは、自体の制用をの割りが利用している 東海のの時間出まが様やよりとしたが、解散を行う「フィーディングタム(絵画解)のまる板を見上れている 全書側に繋がているとして、ゲウガンはどピカークのよりは表で表が行われている 全書側に繋がているとして、ゲウガンはどピカークルである 有料の体数プログラムとして、ゲウガンはどピカークルである 有料の体数プログラムとして、グラガンとどどのみ取りが表がよりといかに、解散を関連している。 実際の時間出まが様やりましたがら解散を行う「フィーディングタム(絵画解)と一般に対している。実際の時間出まが様やりましたがら解散を行っている。実際の時間出まが様やりましたがら解散を行っている。 東海の時の出まが様やりましたがら解散を行っている。 「本の様の大に対している。大きを行りではなくからている。 「本の様の様の大きをからしたがら解散を行っている。 「本の様の様の大きをからしたがら解散を行っている。 「本の様の様の表がままり、「他の表がまました」「他の表がままり、「他の表がまました」 「本の様の表がままり、「本の様の表がままり、「他の表がままり、ままり、「他の表がまり			
接名版・魚名版は、生物のシルエットに注目してほしいポイントを色づけし、生息地と解鍵を加えたデザインとなっている。			
世上解説を加えたデザインとなっている 種名板、魚名板は、水鉄館として伝えたい基本内容に、アートを開連させて作られている。 種名板・魚名板は、人数と時間をかけて作成された 企画展「ブラスチックの海ー変えられる未来一」は、アトアでは初めての環境問題 を取り上げた金高展であり、マイクロブラスチックなどによる海ゴミ問題について 考えることをデーマに開催した ワークショップは、調明のプラフェップを開催した ワークショップは、調明のプラスナックのも作られた魚の型に色付けをし、オリジナル作品を作る ワークショップで、調明のプラスナックのも作られた魚の型に色付けをし、オリジナル作品を作る ワークショップで、正明でティストを講師に迎え、海ゴミを使ったオリジナル工作を する ロークショップで、正明でディストを講師に迎え、海ゴミを使ったオリジナル工作を する ロークショップを開催した アークショップを開催した 第個面アート「BLUE CARSON」は、公式炉からデータのダウンロードが可能で、自由 に誰でも使うことができる 愛面アート「BLUE CARSON」は、ペス炉からデータのダウンロードが可能で、自由 に誰でも使うことができる 愛面アート「BLUE CARSON」は、公式炉からデータのダウンロードが可能で、自由 に誰でも使うことができる 愛面アート「BLUE CARSON」は、スス炉からデータのグウンロードが可能で、自由 に能でも使うこクショップを開催した 原薬室園を再生フラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を 作るワークショップを開催した 原薬室園を再生フラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を 作るワークショップを開催した アークショップを開催した 東海の変施 アークショップを開催した 東本教育の場所をする主き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を 特をフークショップを開催した アークショートは、1度300円、最短目的で鳴みでる客が多い フークシートは、1度300円、最短目的で鳴みでする客が多い フークシートは、1度400円、最短目的で鳴みでする客が多い フークシートは、1度400円、最短目的で鳴みでする客が多い フークシートは、1度400円、最短目ので鳴みでる客が多い フークシートは、1度400円、最短目ので鳴みでるを多が。 フークシートは、1度400円、単生内の事業の手に関する本を設置している 全事物に関心を整定している スタップリートと東北が「GALLERY」では、五廊を使って来しむことができる展示を している 「大きを対したいでするといででするといででするといでできる展示を はいませんでは、1度400円のよりに関すしたができる展示を いったができる展開を使むのよりに関するを設定している スタップリートと東北が「GALLERY」では、五廊を使って来しむことができる展示を している 「大きを対している」 東京の時間を開催をからたができる展示が表まる 「毎の時間がはしている」 スタップリートと東北が「GALLERY」では、五廊を使って来しむことができる展示を はいませんでは、カールでは、1度400円、1度400円のよりに関するを設定している なのよりには、アラウストに関ロの人に関すると設定では、アランア・レスの場がは、アランア・レスのの場がは、アランア・レスのの場がは、アランア・レスのの場がは、アランア・レスののでは、アランア・レスののでは、アランア・レスののでは、アランア・レスののでは、アランア・レスののでは、アランア・レスののでは、アランア・レスののでは、アランア・レスのでは、アランア・レスのでは、アランア・レスのでは、アランア・レスのでは、アランア・レスのでは、アランア・レスのでは、アランア・レスのでは、アランア・レスのでは、アランア・レスのでは、アランア・レスのでは、アランア・レスのでは、アランア・レスのでは、アランア・レスのでは、アラ			
様名板、魚名板は、水族館として伝えたい基本内容に、アートを限速させて作られている 種名板・魚名板は、人数と時間をかけて作成された 企画版 ブラスチックの海ー変えられる未来一」は、アトアでは初めての環境問題 を取り上げた企画版であり、マイクロブラスチックなどによる海ゴミ問題について 考えることをデーマに開催した アークショップを開催した アークショップは 漁縄のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナル作品を作る ワークショップは 漁縄のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナル作品を作る アークショップは 漁縄のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナル作品を作る アークショップは 漁縄のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナルで格品を作る アークショップは 漁縄のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナルで格品を作る アークショップは 漁場のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナルで格品を作る アークショップは 漁場のアラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナルで作品を作る 歴価アート FBUE CARSON」は、公式印かからアークのデックロードすることができる 選価アート FBUE CARSON」は、公式印かからアークの裏面にも記載されている ホケテリの器様に出た殻からヘルメットを製造する会社と共に、貝殻から消しゴムを作るフークショップを開催した アークシートは、日本ののインターがを開催した アークシートは、日本ののインターのでからが大きり アークシートは、日本ののインターのででは他に表して、アークシートは、日本のの特別をするを発と共に、再生プラスチックから作品を作ちつかった アークシートは、田本の時間が多が利用している 大き物に関心を持つてクークシー・は、田本の時間が多が利用している 大き物に関心を持つてクークシートは、田本の特別をするとして、カワッカインを表している とき物に関心を持つてクークレーバ クラーント 大き楽化 データーの大き 大きな アーク・アーン・アート と変化 解説を持つている 生き物に関心を持つてクーンとして、ソウガメとピラルへの画やり体験を実施している 全画機関幅では、企画版の内容に関する本を設置している 大き物に興味を受けている 世界カウカンの日に実施した的研究と関いまでいる 世界カウカンの日に実施した的研究と関いまがままる 「神の体表」のより、などの皮が多かったが、解説後は「倒)のではなく守っている 海側解析の アーク・ストの 大き 大きの アーク・ストの 大き 大き 一般に変かった 「一般に表した」「「中の体表」のなどは、「川TABI」「中に表に対し、「中の体表」と呼吸を表した。「中の体表」と呼吸を表した。「中の体表」と呼吸を表した。「中の体表」のよりを表した。「中の体表」と呼吸を表した。「中の体表」と呼吸を表した。「中の体表」と呼吸を表した。「中の体表」と呼吸を表したとなった。「中の体表」のは、「中の体表」と呼吸を表したとなった。「中の体表」のは、「中の体表」と呼吸を表した。「中の体表」のなど、「中の体表」のは、「中の体表」のは、「中の体表」となら、「中の体表」のは、「中の体表」となら、「中の体表」			
でいる 「種名版・魚名板は、人数と時間をかけて作成された ・金藤原「プラスチックの海〜変えられる表来」は、アトアでは初めての環境問題 を取り上げた金藤原であり、マイクロブラスチックなどによる海ゴミ問題について 考えることをテーマに開催した 「存品原元が加え、3種類のワークショップを開催した 「アークショップの: 漁棚のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナル作品を作る 「アークショップの: 漁棚のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナル作品を作る 「アークショップの: 漁棚のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナル作品を作る 「アークショップの: 廃棄ホタテの貝殻から消しゴムを作る 「アークショップの: 廃棄ホタテの貝殻から消しゴムを作る 「アークショップの: 廃棄ホタテの貝殻から消しゴムを作る 「アークショップの: 廃棄ホタテの貝殻から消しゴムを作る 「アークションでの: 廃棄ホタテの貝殻から消しゴムを作る 「アークシート 「ROLDROIN」は、次点がからデータのダウンロードが可能で、自由 にませても使うことができる 「型面アート 「BLUE CARSOIN」は、次点がからデータのダウンロードが可能で、自由 にませても使うことができる 「アークシートを見に CARSOIN」は、ス点がからデータのデクロードが可能で、自由 にませてもウランョップを開催した 廃棄漁棚を再生プラスチッフに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を 作ちの「アークシートは、日はROIN」は、アークシートを製造する会社と共に、貝殻から消しゴム を作るワークショップを開催した 原来漁棚を再生プラスチッフに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を 作ちの「アークシートは、日は利用者の別と5の利用している 「アークシートは、日は利用者の別と5の利用している エディンのデーターの場を開発にしている エアークシートは、日は利用者の別と5の利用している 日本な本棚を中心としたスペース「ston LAB」には、7つのテーマに沿って本が分類。設置されている を参照機体を持つため のきっかけ作り「アークシートは、日間和を持つたのである 有料の体験でログラムとして、ソウガメビビラルクへの関やり体験を実施している エアルファンの目に実施した影響所説では、アンケートを実施、解説前は「可きなどしている 「アンフト」とは個体形式ではいませばしている 「展現を持つている」 「東京の時間に関連の方面の方である 有料の映画がは、までの表が表である 有料の検験でログラムとして、ソウガメビラルへへの関やり体験を実施している 「表別の情報を対しているといまでは他かたが、アンドンとりは一般が表が表する「アンドン」といるの表が表する「下のYER」との場所を対していると呼の声を伸回を使っていいる 「おりの表が表する」には「手が表」は、「用口を同手の表が表まる「「「でYER」と表別を対していると得り、「アンド」と表別を開始した。インドンとかの音楽を描している。 「「POYER」との場合が表する。「「「POYER」との場合が表するのよりでは、までは、「おりのでは、アント」と表別を表が表まる 「「POYER」と表別を表がままった。「「POYER」と表別を表が表まる。「「POYER」と表別を表が表する。「POYER」と表別を表がままった。「POYER」と表別を表が表する。「POYER」と表別を表がままった。 「POYER」と表別を表がままった。「POYER」を表がままった。「POYER」を表がままります。「POYER」を表がままった。「POYER」を表がままった。「POYER」を表がままった。「POYER」を表がままった。「POYER」を表がままった。「POYER」を表がままった。「POYE			
産名版は、人数と時間をかけて作成された。 金画版『ブラスチックの海~変えられる未来~」は、アトアでは初めての環境問題を取り上げた金画版であり、マイクロプラスチックなどによる海ゴミ問題について考えることをデーマに開催した。 「作品販売に加え、3種類のワークショップを開催した フークショップの: 漁網のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナル作品を作る フークショップの: 漁網のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナル作品を作る フークショップの: 漁網のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナル作品を作る フークショップの: 廃産ホクテの貝殻から弾しざみと作られた魚の型に色付けをし、オリジナル作品を作る フークショップの: 廃産ホクテの貝殻から弾しざみとがら館内を巡ることができる「フークシート「GULG CARBON」は、公式IPからデータのダウンロードすることができる「カークションプを開催した」「スクティアのデラスチックに加工する企業と共に、再盤プラスチックに加工する企業と共に、異数でら清してムを作るワークショップを開催した。 アークションで開催した 原産業師を再生プラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を作るワークショップを開催した。 アークションで開催した 原産業師を再生プラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックの場合を行るワークショップを開催した。 アークシートは、等校教育の一環で来館する団体客などに無料配布している「大きなワークションでを開催した」でクークションで開催した。 アークシートは、1時300円、急機割ので開水する客が多いフークシートは、1時300円、急機割ので開水する客が多いフークシートは、1時300円、急機が多が利用している、技術性の場合をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を提出さている。 生物に関心を持つため、体機型アートを楽しむ「GALLERY」では、五版を使って楽しむことができる展示をしている。 ファップートは関心が影響を中心としたスペース「おtoo LAB」には、7つのテーマに沿って本が分別を表でいている。 生物に関心を発生している。 「おけによる学び」 本の中に対したも関心を発している。 「本の体験プログラムとして、ゾウガルとピラルクへの質やり味験を実施している実際の前を担当のでいりに表したも時間を対している。 大き物に関心ではなく守っていこう」という意見に表した。 「本の体験が関ルのイングリンの日に実施した始時解説では、アンケートを実施、解説前は「可愛い」、1年は1年によるとびの意りが多ったが、解説後は「飼うのではなく守っていこう」といくは他が決していり、チャンとカワウソは目し回回の側、円柱水槽の魚、ペンギンとカワウソは目に関いのでいりに表している。 「「FOVER」の数式では「おりが表と物にでいり、その水解者が集まる「「FOVER」の数式では、「MIVABI」でAMEでいりでは、1月10日に、アンケートを実施、解説のアンプロでに、1月10日に、アングに表している。 「FOVER」の数は、「MIVABI」でAMEでいりでは、1月10日に、アングには、1月10日に、アングには、1月10日に、アングには、1月10日に、アングには、1月10日に、アングには、1月10日に、アングには、1月10日に、アングには、1月10日に、アングには、1月10日に、アングには、1月10日に、アングには、1月10日に、アングには、1月10日に、アングには、1月10日に、アングには、1月10日に、アングには、1月10日に、アングには、1月10日に、1月10日			
金画展「プラスチックの海〜変えられる未来〜」は、アトアでは助めての環境問題を取り上げた金画版であり、マイクロプラスチックなどによる海ゴミ問題について考えることをテーマに関催した 「中品展示に加え、3種類のフークショップを開催した 「ワークショップの: 漁網のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナル作品を作る 「ワークショップの: 漁網のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナル作品を作る 「ワークショップの: 連集ホクテの貝殻から消しゴムを作る 「ワークショップの: 連集ホクテの貝殻から消しゴムを作る 「ワークショップの: 連集ホクチの貝殻から消しゴムを作る 「ワークショップの: 連集ホクチの貝殻から消しゴムを作る 「ワークショップの: 連集ホクチの貝殻から消しゴムを作る 「ロークシート「ROURCHUM/STUDY」は、設問に答えながら館内を図ることができる。 「ロークシート「ROUR CARSON」は、公式印からデータのダウンロードが可能で、自由に強ても使うことができる。 「整面アート「BLUE CARSON」は、フークシートの裏面にも記載されている。 本クテ貝の養殖で出た般からへルメットを製造する会社と共に、貝殻から消しゴムを作るフークショップを開催した 原産液網を再生プラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を作るフークショップを開催した 原産液網を再生プラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を作るフークションがを開催している。 「デンチには、日体利用者の的目が多が利用している。 ・ 本種内の解除をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除傷」の魚名板を掲示している 「サンシートは、日体利用者の的目が多が利用している。 ・ 本種内解除をする生き物に見な利用のでは、フークシートは、自体利用をのかりが多が利用している。 ・ 本種内の解除をする生き物に見な利用のでは、フークシートは、自体利用をのかりが利用している。 ・ 本種内の解除でする生き物に見な利用のでは、フークシートを関係をアートを楽しむ「おお作機でアートを楽しむ「公社の表が設置している」 ・ 本種内の解除ですりをしながら解説を行ってっる。     本本を対している。     本書を呼吸としたスペース「おもらいやすいよう、絵本などジャンルを問われている。     本書を開始を呼いとしながら解説を行ってみの面がり接触している。     本書のの前を理とが得かりをしながら解説を行っている。     本書のの前を開始が出まるのでいる。     本書のの前に対している。     本書のの前に見が表している。     本書のの前に関連が関連でいるといるの情報を表したいる。     本書のの前に見まが様でいるといるの情報を記している。     本書のの前に見なが表している。     本書のの前に見なが表している。     本書のの前に見なが表している。     本書のの前に見なが表しまの作品の前にでなく守っていこう。といている。     本書のの情報を申し込む。はほ気表もないとないを表している。     本書のが表しまの情報をいるといなが表しましている。     本書のの情報を向している。その時間に行っている     本書のの情報を向している。その時間に行っている     本書のの情報を作べたといる。     本書のの情報を中心とないるの情報を作べたといる。     本書のが表しまの情報を表しました。「「おいた」、「おい			7 : 0
を取り上げた企画版であり、マイクロブラスチックなどによる海ゴミ問題について 考えることをデーマーでは簡低した			
作品展示に加え、3種類のワークショップを開催した ワーショップの10 : 漁棚のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナル作品を作る ワークショップの2 : アーティストを講師に迎え、海ゴミを使ったオリジナル工作をする ワークショップの3 : 廃棄ホタテの貝殻から消しゴムを作る ワークショップの3 : 廃棄ホタテの貝殻から消しゴムを作る ワークショップの3 : 廃棄ホタテの貝殻から消しゴムを作る ワークショ・「AQUARIUM×STUDY」は、設開に答えながら値内を巡ることができる プログラムである。 解説付きの解答をダウンロードすることができる 受価アート「RULE CARBON」は、ウークショートの裏面にも記載されている ホタテ貝の暴速ではた般からヘルメットを製造する会社と共に、貝殻から消しゴムを作るワークショップを開催した ワークショップを開催した スティブログラムの参加者は、子連札の家族が多い ワークションプを開催した フークションプを開催した スティブログラムの参加者は、子連札の家族が多い ワークションプを開催した フークションプを開催した フークションプを開催した スティブログラムの参加者は、子連札の家族が多い ワークシーは、目体利用者の約1%が利用している 水槽内の持続をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を指示している 地帯にしている レーシーは、目体利用者の約1%が利用している 水槽内の持線をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を指示している 世界がログラントを乗せむしたスペース「おむし LAB」には、7つのテーマに沿って本が分齢に設置されている 生き物に興味がない人にも関心を持ってもらんで、お湯除係」の魚名板を動力が設置している 企画展開催時には、企画展の内容に関する本を設置している。企画展の前籍担当が解析りをしたが糸解説を行う「フィーディンタイム(始前の 支際の前自担当が解析)をしためら解説を行う「フィーディンタイム(始前の第を持つ作数)」を毎日決まった時間に行っている 世界カウソの目に実施した始の解説を行う「フィーディンタイム(位置の前を対している)であり体験でいるしたでのの前を対しているとの前の前を対しているとかりの前に実施したもが解説とているの前に変した。「FOVER」は、では190円、定員が決まっており、チケットを開発ですいした。100円の表と200円の表と200円のよりと60円へ以上を目とした「FOVER」は、「第178日」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアで「FOVER」は、「第178日」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアで「FOVER」は、「第178日」には、「第178日」には、「第178日」では、150円の別にははたりたりののの別にははでした。「FOVER」は、150円の別にはは、150円の別にははならですりが行かけており、多名の別の名と200円の別に対しているののの名と200円へのよりに表した「FOVER」は、150円の別に対しばり時間程度がこる60円へ別に対します。150円の別に対している200円の別に対しでいる200円の別に対しでいる200円の別に対している200円の別に対しでは対			
ワークショップの: 漁網のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジナル作品を作る ワークショップの: アーティストを講師に迎え、海ゴミを使ったオリジナル工作をする ワークショップの: 廃棄ホタテの貝殻から消しゴムを作る ワークショップの: 廃棄ホタテの貝殻から消しゴムを作る ワークショップの: 廃棄ホタテの貝殻から消しゴムを作る ワークショップの: あいまり においまり においまり に対している 空面アート 「ELUE CARBON」は、公式IPからデータのダウンロードが可能で、自由に誰でも使うことができる 空面アート 「ELUE CARBON」は、ワークシートの裏面にも記載されている ホタテ貝の番種で出た殻からヘルメットを製造する会社と共に、貝殻から消しゴムを作るワークショップを開催した 廃棄漁網を再生プラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を作るワークショップを開催した 原本漁場を再生プラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を作るワークショップを開催した 原本漁場を再生プラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を作るワークションを開催した 原本漁場である場合 でランシーは、自体利用者の割り%が利用している 水橋内の掃除する主物に決定してもらえるように、「お掃除傷」の魚名板を掲示している 日本な棚を中心としたスペース「おロ LAB」には、7つのテーマに沿って本が分類・設置されている 住力をおき物に決定している アックディレクターによる本の湿定と半年に同の入れ替え作業が行われている 生物に興味がない人にも関心を持ってもらいやすいよう。絵本などジャンルを開かず設置している クランブレック・による本の湿定と半年に同の入れ替え作業が行われている 生物に実体がない人にも関心を持ってもらいやすいよう。 発本などジャンルを開かず設置している スタンブノートは銀内5万所のスタンブを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ソウガメとビラルクへの餌やり体験を実施している 実際の飼育担当が育やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(格解解説)」を毎日決定してい、コングの意見が多かったが、解説後は「飼うではなく守ってい こう」という意見に実施したを情報を開設では、アンケートを実施、解説前は「可愛い、飼ってみたい」などの意見を対策している。 海路解説の対象を主動にベンギン、カワウソは「日間回りの間、円柱水槽の魚は通河回り間行っている 海路解説の対象を主動しペンギン、カワウソは「日間回りの間、下のVER」改装を「下のVER」改装を、利用家の平均滞在時間がは関側を関東のよりと400円へより、ある 「FOVER」改装後、利用家の平均滞在時間がは時間根度から20時間程度に延長した 下のVER」改装後、利用家の平均滞在時間がは時間根度から200円へによりに行う ちん 人 は様と 2 000円へに 2 000円へに 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			考えることをテーマに開催した
学習機会を増やす工夫 学習機会を増やす工夫 学習機会を増やす工夫 学習機会を増やす工夫 学習機会を増やす工夫 「クークショップ②: 廃棄ホタテの貝殻がら消しゴムを作る フークショップ③: 廃棄ホタテの貝殻がら消しゴムを作る フークショップ③: 廃棄ホタテの貝殻がら消しゴムを作る フークショップ③: 廃棄ホタテの貝殻がら消しゴムを作る 型面アート「RLUE CAR80II」は、公式IIPからデータのダウンロードが可能で、自由 に誰でも使うことができる 型面アート「BLUE CAR80II」は、ワークシートの裏面にも記載されている ホタテ貝の養殖で出た殻からヘルメットを製造する会社と共に、貝殻から消しゴム を作るワークショップを開催した 廃棄漁棚を再生クラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を 作るワークショップを開催した アークショップを開催した フークシートは、学校教育の一環で未飽する団体客などに無料配布している スタディプログラムの参加者は、予達礼の家族が多い ワークシートは、日秋到のPLの表域を受けて関わている 水槽内の掃除をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を 掲示している セき物に関心を持つため のきっかげ作り 大な本棚を中心としたスペース「átog LAB」には、7つのテーマに沿って本が分類・設置されている 検験型アートを乗しむ。「GALLERY」では、五感を使って楽しむことができる展示をしている エクッティレクターによる本の選定と単年に1回の人社替え作業が行われている 生き物に関心を持つため のきっかげ作り。 本画展開催性には、企画展の内容に関する本を設置している スタンプノートは館内5カ所のスタンプを集めるプログラムとして、クラガメとビラルクへの飼やり体験を実施している 実際の飼育担当が傾やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給飼解説)」を毎日決まった時間に行っている 東際の飼育担当が傾やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給飼解説)」を毎日決まった時間に行っている 、実際の飼育担当が関やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給飼解説)」を毎日決まった時間に行っている のまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのま			作品展示に加え、3種類のワークショップを開催した
デ書機会を増やす工夫 学習機会を増やす工夫 学習機会を増やす工夫 データンョップ③: 廃棄ホタテの貝殻から消しゴムを作る ワークショップ③: 廃棄ホタテの貝殻から消しゴムを作る ワークショップのある。解説付きの解答をゲウンロードすることができる 型面アート「BLUE CARBON」は、公式HPからデータのダウンロードが可能で、自由 に誰で使うことができる 型面アート「BLUE CARBON」は、のフクシートの裏面にも記載されている ホタテ貝の養殖で出た殻からヘルメットを製造する会社と共に、貝殻から消しゴムを作るワークショップを開催した。 廃棄漁網を再生プラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を 作るワークショップを開催した。 の実施 プイス体館づくり を作るワークショップを開催した。 の実施 フークシートは、野校教育の一環で来館する団体客などに無料配布している スタディブログラムの参加者は、予達化の家族が多い ワークシートは、目体利用者の約り%が利用している メ特内の掃除をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を 掲示している 生き物に関心を持つため のきっかけ作り でいる 全事物に関心を持つため のきっかけ作り でいる イ クランテンとしたスペース「stoo LAB」には、7つのテーマに沿って本が分類 が設置している 全画展開催時には、全画展の内容に関する本を設置している スタンプノートは飲内5カ所のスタンブを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ソウガメとビラルクへの餌やり体験を実施している 実際の間育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム (給資解) 説) 主毎日状まった時間に行っている 東際の前育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム (給資解) 説) シーシのよいなどの意見が多かったが、解説後は「同うのではなく守ってい こう」という意見に変わった。 「年かによる学び 解やりずしながら解説を行う「フィーディングタイム (総資解) 説 シージのよりまった時間に行っている はほぼ売まる 給師解説の対象生物はヘメモン、カワウソ、円柱水槽の魚、ペンギンとカワウソは1日1回1の分間、門柱水槽の魚は週週回1の分間行っている 総解解説の対象生物はヘメモン、カワウソ、円柱水槽の魚、ペンギンとカワウソは1日1回1の分間、門柱水槽の魚は週週回1の時間を成っる時間が集まる 「FOYER」改装では、多数の本間とよりの時の本が設置された 「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」は、開露のよりに表しため、上継機を2 400円から2 14 を1 ft た			ワークショップ①:漁網のプラスチックから作られた魚の型に色付けをし、オリジ
学習機会を増やす工夫 学習機会を増やす工夫 学習機会を増やす工夫 学習機会を増やす工夫 デークショップ③:廃棄ホタテの貝殻から消しゴムを作る ワークシート 「AGUARIUM\XTUDV」は、設問に落えながら館内を巡ることができる 型面アート「BLUE CARBON」は、公式HPからデータのダウンロードすることができる 型面アート 「BLUE CARBON」は、カスHPからデータのダウンロードが可能で、自由 に誰でも使うことができる 型面アート 「BLUE CARBON」は、ワークシートの裏面にも記載されている ホタテ貝の暴機ではた殻からヘルメットを製造する会社と共に、貝殻から消しゴムを作るワークショップを開催した 廃棄漁網を再生プラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を 作るワークショップを開催した アークシートは、学校教育の一環て来館する団体客などに無料配布している スタディプログラムの参加者は、子連れの家族が多い ワークシートは、団体列目の動物はが利用している 水槽内の掃除をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を 掲示している フックシートは、団体列目を向別り%が利用している 水槽内の掃除をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を 投影している フックディレクターによる本の選定と半年に1回の人れ替え作業が行われている 生き物に興味がない人にも関心を持ってもらいやすいよう、絵本などジャンルを問 カが設置している スタンプノートは館内5カ所のスタンプを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ソウガメとビラルクへの質やり体験を実施している 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム (終餌解) 説)」を毎日まりまった時間に行っている スタンプノートは館内5カ所のスタンプを集めるプログラムでも体験を実施している 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム (終餌解) 説)」を毎日またった時間に行っている でありまりまりまりまりまりまりまりまります。 「おりな表したというなどの意見が含まっており、チケット表り場にで先者順で申し込む はぼ完売する 総飼解説の対象生物に入が10円。定員が決まっており、チケット表り場で中し込む はぼ完売する 総飼解説の対象生物に入が10円の表で、別の来信者が集まる 「FOYER」改装では、発数の本欄と2、500冊の本が設置された 「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」は に関係がよりのため、当場を2 40円のから2 46円のかと3 46円のため、10円のもの241年1月だ			
学習機会を増やす工夫 フークショト「AQUARTUM/STUDY」は、設問に答えながら館内を巡ることができる フークシート「AQUARTUM/STUDY」は、設問に答えながら館内を巡ることができる プログラムである。解説付きの解答をグウンロードすることができる 型面アート「BLUE CARBON」は、公式中からデータのダウンロードが可能で、自由 に選でも使うことができる 型面アート「BLUE CARBON」は、ワークシートの裏面にも記載されている ホクテ貝の養殖で出た殻からヘルメットを製造する会社と共に、貝殻から消しゴム を作るワークショップを開催した 廃棄漁網を再至プラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を 作るワークショップを開催した フークシートは、学校教育の一環で来館する団体客などに無料配布している フクライフログラムの参加者は、予連れの家族が多い ワークシートは、財気の円の、勉強自的で開入する客が多い ワークシートは、財気の円の、勉強自的で開入する客が多い ワークシートは、財気の円の、勉強自的で開入する客が多い ワークシートは、財気の円の、勉強自的で開入する客が多い ワークシートは、財気の円の、勉強自的で開入する客が多い フークシートは、財気の円の、勉強自的で開入する客が多い フークシートは、財気の円のを発力している 本権内の開発をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を 掲示している 巨大な本棚を中心としたスペース「stou LAB」には、7つのテーマに沿って本が分 類・設置されている にている フックディレクターによる本の選定と半年に1回の人れ替え作業が行われている 生き物に興味がない人にも関心を持ってもらいやすいよう、絵本などジャンルを問 カイ設置している 企画展開催時には、企画展の内容に関する本を設置している スタンプノートは館内方がのスタンプを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ゾウガメとビラルクへの餌やり体験を実施している 実際の飼育担当が関やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給飼解 説)」を毎日記まった時間に行っている こう。という意見に変わった 「中の体験に以つびのことが表が表さられた 「中の体験に入りので、足が表された」「「のでは、の表を検に入り、アレートを実施、解説前は「可愛 、は、ほど表もない。アレートを表になく守ってい こう」という意見に変わった 「毎日の情報をより、解説解説の対象と物は八つで、定員が決まっており、チケット売り場になく守ってい こう。という意見に変わった。 「中の体験とは別のの表と、2500冊の本が設置された 「中のでは、改装を、利用室の平均滞在時間が1時間程度に延長した 「中のでは、改装を、240円を入り、150円を入りまりまとは行た 「中のでは、250円を入りを表した数では、アレートを表した。150円を入りまりまとは、「中のでは、250円を入りまりまとは、150円を入りまりまとは、「中のでは、250円を入りまりまとは、150円を入りまりまとは、150円を入りまりまとは、150円を入りまりまとは、150円を入りまりまとは、150円を入りまりまとは、150円を入りまりまとは、150円を入りまりまとは、150円を入りまりました。 「中のでは、250円を入りまりました。150円を入りました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりまりました。150円を入りまりまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりました。150円を入りまりまりました。15			
アークシート「AGUARIUM-XSTUDY」は、説問に答えながら館内を図ることができる 型面アート「BLUE CARBON」は、公式中からデータのダウンロードが可能で、自由 に誰でも使うことができる 型面アート「BLUE CARBON」は、公式中からデータのダウンロードが可能で、自由 に誰でも使うことができる 型面アート「BLUE CARBON」は、アークシートの裏面にも記載されている ホタテ貝の養殖で出た殿からヘルメットを製造する会社と共に、具殻から消しゴム を作るワークショップを開催した アークショップを開催した アークショップを開催した フークシートは、学校教育の一環で来館する団体客などに無料配布している スタディプログラムの参加者は、子達れの家族が多い ワークシートは、団体列目者の約り%が利用している スタディプログラムの参加者は、子達れの家族が多い ワークシートは、団体列目者の約り%が利用している 上で、カーク・・は、団体列目者の約りが利用している をき物に関心を持つため のきっかけ作り あたる。一般では、全体験型アートを楽しむ「GALLERY」では、五感を使って楽しむことができる展示をしている とき物に関心を持つため が、カード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
プログラムである。翻説付きの解答をダウンロードすることができる 壁面アート「BLUE CARBON」は、公式HPからデータのダウンロードが可能で、自由 に誰でも使うことができる 壁面アート「BLUE CARBON」は、フークシートの裏面にも記載されている ホタテ目の最極ではた数からヘルメットを製造する会社と共に、貝殻から消しゴム を作るワークショップを開催した 廃棄漁網を再生プラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を 作るワークショップを開催した アークシートは、学校教育の一環で来館する団体客などに無料配布している スタディブログラムをかか者は、天達ルの受験が多い ワークシートは、I校300円。勉強目的で購入する客が多い ワークシートは、I校300円。勉強目的で購入する客が多い ワークシートは、I校300円。勉強目的で購入する客が多い ワークシートは、I校300円。勉強目的で購入する客が多い ワークシートは、I校300円。勉強目的で購入する客が多い ワークシートは、I校300円。勉強目的で購入する客が多い ワークシートは、I校300円。勉強目ので購入する客が多い フックシートは、I校300円。勉強目ので購入する客が多い ワークシートは、I校300円。勉強目ので購入する客が多い ワークシートは、I校300円。勉強目ので購入する客が多い 場上でいる 基本性のなどのよった。 「おけれた」となべる「おいました。こので表して、どかできる展示をしている スタタディント・と変しむ「GALLERY」では、五感を使って楽しむことができる展示をしている スタタデート・は密防5カ所のスタンプを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ゾウガメとビラルへの餌やり体験を実施している 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行かている、実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行っている。 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行っている 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を方して、「アイディングタイム(給餌解説)」を毎日決まった時間に行っている でい、飼ってみたい、などの最近期間であったが、解説後は「飼うのではなく守ってい こう」という意見に変わった 「毎やり体験は1人700円。定責が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完発さる 給餌解説の対すを生物は「日の社の人」をは異なり、名を着いた雰囲気のエリアで 「FOVER」改装は、列用客の平均滞在時間が1時間程度に延長した 「FOVER」改装で、「単日が上の人」とは異なり、名を着いた雰囲気のエリアで 「FOVER」改装で、「単日が上の人」とは異なり、名を着いた雰囲気のエリアで 「FOVER」改装を、利用客の平均滞在時間が1時間程度に延長した 「FOVER」改装に、「用がから2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOVER」改装(、「一日が長き大規模なものとなった		学習機会を増やす工夫	
整面アート「SLUE CARBON」は、公式IPからデータのダウンロードが可能で、自由に推でも使うことができる 壁面アート「SLUE CARBON」は、ワークシートの裏面にも記載されている ホタテ貝の差燥で出た数からヘルメットを製造する会社と共に、貝数から消しゴムを作るワークショップを開催した 廃棄漁網を再生プラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を作るワークショップを開催した の実施の実施の実施の実施でした数百の実施「フークシートは、学校教育の一環で来館する団体室などに無料配布している スタディプログラムの参加者は、子達札の家族が多い、ワークシートは、団体利用者の約196が利用している 水槽内の掃除をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を掲示している 巨大な本棚を中心としたスペース「おton LAB」には、ワつのテーマに沿って本が分類・設置されている 体験型アートを楽しむ「GALLERY」では、五感を使って楽しむことができる展示をしている。フッグ・トと楽しむ「GALLERY」では、五感を使って楽しむことができる展示をしている。 全画展開催性には、全画展の内容に関する本を設置している スタンプノートは館内5カ所のスタンプを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ゾウガメとピラルクへの餌やり保験を実施している 実際の間質担当が餌やりをしながら解説を行っている。使用の内容に関する本を設置している 実際の間質担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解説)」を毎日決まった時間に行っている 世界カワツの日に実施した絵餌解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守ってい。四やりを映はは人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完売する 給餌解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる「FOYER」は、関値から上2番り、落ち着いた雰囲気のエリアで「おきにより、などのき入が表面でいた。「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアで「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアで「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアで「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアで「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、含ち着したのでが記された「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、含ち着いた雰囲気のエリアで「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、2000円へが設置したした「FOYER」は、MIBがよりない、上間を対しいとならのとなった			
に誰でも使うことができる 型面アート「の表現に CARBON」は、ワークシートの裏面にも記載されている ホタテ貝の養殖で出た競からヘルメットを製造する会社と共に、貝殻から消しゴム を作るワークショップを開催した 廃棄漁網を再生プラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を 作るワークショップを開催した の実施  チどもを対象とした教育 の実施  チどもを対象とした教育 の実施  チどもを対象とした教育 の実施  クークシートは、学校教育の一環で来館する団体等などに無料配布している スタタイプログラムの参加者は、予達れの家族がシい ワークシートは、1枚300円。勉強目的で購入する客が多い ワークシートは、1枚300円。勉強目ので購入する客が多い フークシートは、1枚300円。勉強目ので購入する客が多い フークシートは、1枚300円。勉強目ので購入する客が多い フークシートは、1枚300円。勉強目ので購入する客が多い フークシートは、1枚300円。勉強目ので購入する客が多い フークシートは、1枚300円。勉強目ので購入する客が多い フークシートは、1枚300円。勉強目ので購入する客が多い フークシートは、1枚300円。免益をもしている スタンプノートは簡内5カ所のスタンプを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ゾウガメとピラルクの単や体験を実施している 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解 説別」を毎日決まった時間に行っている 本料のの関係とするとして、ゾウガメとピラルの科やり体験を実施している 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解 説別」を毎日決まった時間に行っている 本料のの場かではなく守ってい 、対してみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守ってい 、対してみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守ってい 、対してみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守ってい 、対してみたい」などの意見が多かったが、解説前は「可愛い、間かりのとの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守ってい 、対して発表したも関係が必要が表したもの意と、が対して発展した。「「FOVER」改装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度がら2時間程度に延長した「「FOVER」改装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した「FOVER」改装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した「FOVER」改装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した「FOVER」改装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度の表された「FOVER」改装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した「FOVER」改装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した「FOVER」改装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した「FOVER」改装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した「FOVER」改装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度なら20日の円から2 6月0円の表13 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			The state of the s
整面アート「BLUE CARBON」は、ワークシートの裏面にも記載されている ホタテ貝の希臘で出た殻からヘルメットを製造する会社と共に、貝殻から消しゴム を作るワークショップを開催した 廃業漁網を再生プラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を 作ちの一クショップを開催した アークシートは、学校教育の一環で来館する団体室などに無料配布している フークシートは、学校教育の一環で来館する団体室などに無料配布している スタディブログラムの参加者は、子連れの家族が多い ワークシートは、1株300円。勉強自的で購入する客が多い ワークシートは、1株300円。勉強自的で開入する客が多い カークショップを開催した とき物に関心を持つため 体験フートを楽しむ「GALLERY」では、五感を使って楽しむことができる展示を している 巨大な本棚を中心としたスペース「átoa LAB」には、ワつのテーマに沿って本が分類 強設置されている 体験型アートを楽しむ「GALLERY」では、五感を使って楽しむことができる展示を している 「海の神験でするとき物に関心を持ったもらいやすいよう、絵本などジャンルを問わず設置している 全画限開催時には、金画展の内容に関する本を設置している 実際の飼育担当が部やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(絵餌解説)」を自日決まった時間に行っている 世界カワウンの日に実施した絵餌解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛い、(飼)つなみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守ってい こう」という意見に変わった 関やり体験は1人700円。定員が決まっており、チケット売り場にで免する 絵質解説のダイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる 「FOVER」は表述は、多数の本棚とえる500冊の本が設置された 「FOVER」で表述では、多数の本棚とえる500冊の本が設置された 「FOVER」は表述に、多数の本棚とえの10円から260円から26時間程度に延長した 「FOVER」改装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した 「FOVER」で数装し、利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した 「FOVER」は、MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアで ある 「FOVER」は表述(利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した 「FOVER」は、規制が20年3月は金面改装された 「FOVER」は、規制の2022年5月後の2024年3月に全面改装された 「FOVER」は、規制の2024年3月に全面改装された 「FOVER」は、規制の2024年3月に全面改装された 「FOVER」は、規制の2024年3月に全面改装された 「FOVER」は、規制を20204年3月に全面改装された 「FOVER」は、規制の20204年3月に全面改装された			
本タテ貝の養殖で出た繋からヘルメットを製造する会社と共に、貝殻から消しゴムを作名ワークショップを開催した 原来漁網を再生プラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を作名ワークショップを開催した アークシートは、学校教育の一環で来館する団体客などに無料配布している スタディブログラムの参加者は、子連れの家族が多い ワークシートは、財役300円。勉強目的で購入する客が多い ワークシートは、財役300円。勉強目的で購入する客が多い ワークシートは、財役4利用者の約1分が利用している 水槽内の掃除をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を指示している 巨大な本機を中心としたスペース「átod LAB」には、7つのテーマに沿って本が分類・設置されている 体験型アートを楽しむ「GALLERY」では、五感を使って楽しむことができる展示をしている フックディレクターによる本の選定と半年に1回の入れ替え作業が行われている生物に興味がない人にも関心を持ってもらいやすいよう、絵本などジャンルを問わず設置している スタンプノートは館内5カ所のスタンブを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ゾウガメとビラルクへの餌やり体験を実施している実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解説)」を毎日決まった時間に行っている 東際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解説)」を毎日決まった時間に行っている 世界カワウソの日に実施した給飼解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守っていこう」という意見に変わった 師やり体験は1人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完売する 給餌解説の分を「ミングは館内放送で呼びかいけており、多くの来館者が集まる「FOVER」改装では、多数の本棚とく、500番の本が設置された「FOVER」の装では、多数の本棚とく、500番の本が設置された「FOVER」の装では、オープン後最も大規模なものとなり、落ち着いた雰囲気のエリアである 「FOVER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである 「FOVER」改装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した「FOVER」改装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度に延長した「FOVER」改装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度に延長した「FOVER」改装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度に延長した「FOVER」改装後、オープン後最も大規模なものとなった。			
展業漁網を再生プラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を作るの一クショップを開催した フークシートは、学校教育の一環で来館する団体客などに無料配布している スタディプログラムの参加者は、子連れの家族が多い ワークシートは、財牧300円。勉強目的で購入する客が多い ワークシートは、財牧300円。勉強目的で購入する客が多い ワークシートは、財牧4利用者の約1%が利用している 水槽内の掃除をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を 掲示している 日大な本棚を中心としたスペース「átou LAB」には、7つのテーマに沿って本が分類・設置されている 体験型アートを楽しむ「GALLERY」では、五感を使って楽しむことができる展示を している カックディレクターによる本の選定と半年に1回の入れ替え作業が行われている 生き物に興味がない人にも関心を持ってもらいやすいよう、絵本などジャンルを問わず設置している スタンプノートは館内5カ所のスタンプを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ゾウガメとビラルクへの餌やり体験を実施している 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解説)」を毎日決まった時間に行っている 世界カワウソの日に実施した給餌解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛い、飼っそみい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守ってい こう」という意見に変わった 調でり体験は「人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完売する 給餌解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる 「FOYER」改装では、多数の本棚と2、500冊の本が設置された 「FOYER」改装では、多数の本棚と2、500冊の本が設置された 「FOYER」改装では、多数の本棚と2、500冊の本が設置された 「FOYER」改装では、多数の本棚と2、500冊の本が設置された 「FOYER」改装では、オープン後最も大規模なものとなった 「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度から2時間程度に延長した 「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度から2時間程度に延長した 「FOYER」改装は、オープン後最も大規模なものとなった			
作るワークショップを開催した ワークシードは、学校教育の一環で来館する団体客などに無料配布している スクダープログラムの参加者は、子連れの家族が多い ワークシートは、I 枚300円。勉強目的で購入する客が多い ワークシートは、I 枚300円。勉強目的で購入する客が多い ワークシートは、I 枚300円。勉強目ので購入する客が多い ワークシートは、I 枚300円。勉強目ので購入する客が多い ワークシートは、I 枚300円。勉強目ので購入する客が多い ワークシートは、I 枚300円。勉強目ので購入する客が多い ワークシートは、I 枚300円。 勉強目ので購入する客が多い ワークシートは、I 枚300円。 勉強目ので購入する客が多い アークシートは、I 枚300円。 勉強目ので購入する客が多い ワークシートは、I 枚300円。 とは、「つのテーマに沿って本が分類・設置されている 巨大な本棚を中心としたスペース「átou LAB」には、7つのテーマに沿って本が分類・設置されている を参覧でするとして、I 大のでは、A 本などジャンルを問わず設置している スタンプノートは館内5カ所のスタンブを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、I ソウガメとビラルクへの餌やり体験を実施している スタンプノートは館内5カ所のスタンブを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、I ソウガメとビラルクへの餌やり体験を実施している 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解説)」を毎日決まった時間に行っている 世界カワウソの日に実施した給餌解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守っていこう」という意見に変わった 類やり体験は1人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完売する 給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは1日回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている 給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは1日回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている 給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは1日回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている 100年第1まで「FOYER」は、「M1YABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである 「FOYER」は、「M1YABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである 「FOYER」は、開館がら2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」は、開館のよりを表もまり、日本を表に発した。 「FOYER」は、開館のよりに表は、オープン後最も大規模なものとなった			を作るワークショップを開催した
基盤と独自性に基づく水族館づくり  子どもを対象とした教育の実施 フークシートは、学校教育の一環で来館する団体客などに無料配布しているスタディブログラムの参加者は、子連れの家族が多いフークシートは、団体利用者の約1%が利用している水槽内の掃除をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を掲示していると表すの書からが開いません。のきっかけ作り  生き物に関心を持つためのきっかけ作り  生き物に関心を持つためのきっかけ作り  生き物に関心を持つためのきっかけ作り  本種内の掃除をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を掲示しているという。 「大な本棚を中心としたスペース「átou LAB」には、7つのテーマに沿って本が分類・設置されている体験型アートを楽しむ「GALLERY」では、五感を使って楽しむことができる展示をしているフックディレクターによる本の選定と半年に1回の人れ替え作業が行われている生き物に興味がない人にも関心を持ってもらいやすいよう、絵本などジャンルを問わず設置しているスタンブノートは館内5カ所のスタンブを集めるプログラムである有料の体験プログラムとして、ソウガメとビラムへの餌やり体験を実施している実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解説)」を毎日決まった時間に行っている世界カワウソの日に実施した給餌解説が、アンケートを実施。解説前は「可愛い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守っていこう」という意見に変わった調やり体験は1人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完売する 給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは1日1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている。 1回1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている 2024年3月の「FOYER」改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された「FOYER」は、「MIYABI」「PLAMETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである場が表した。「FOYER」改装では、身数の本棚と2,500冊の本が設置された「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度から2時間程度に延長した「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度から2時間程度に延長した「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度から2時間程度に延長した「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度の交換された「FOYER」改装後、利用客の平均滞を時間が1時間程度から2時間程度に延長した「FOYER」改装後、オープン後最も大規模なものとなった			廃棄漁網を再生プラスチックに加工する企業と共に、再生プラスチックから作品を
子どもを対象とした教育 の実施  スタディブログラムの参加者は、子連れの家族が多い ワークシートは、1枚300円、勉強目的で購入する客が多い ワークシートは、1枚300円、勉強目的で購入する客が多い ワークシートは、1枚300円、免職の対別(水が利用している) 水槽内の掃除をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を掲示している   上水本棚を中心としたスペース「átoa LAB」には、7つのテーマに沿って本が分類・設置されている   体験型アートを楽しむ「GALLERY」では、五感を使って楽しむことができる展示をしている   本事型・設置されている   体験型アートを楽しむ「GALLERY」では、五感を使って楽しむことができる展示をしている   全事物に興味がない人にも関心を持ってもらいやすいよう、絵本などジャンルを問わず設置している   スタンプノートは館内5カ所のスタンプを集めるプログラムである   有料の体験プログラムとして、ゾウガメとピラルクへの餌やり体験を実施している   スタンプノートは館内5カ所のスタンプを集めるプログラムである   有料の体験プログラムとして、ゾウガメとピラルクへの餌やり体験を実施している   実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム (給餌解説)」を毎日決まった時間に行っている   世界カワウソの日に実施した粉餌解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守っていこう」という意見に変わった   毎年別年のサイトの日に実施した粉餌解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守ってい、合う、という意見に変わった。   年のドの大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大			1.11
の実施 ワークシートは、I枚300円。勉強目的で購入する客が多い ワークシートは、団体利用者の約1%が利用している 水槽内の掃除をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を 掲示している 巨大な本棚を中心としたスペース「âtou LAB」には、7つのテーマに沿って本が分 類・設置されている をき物に興味がない人にも関心を持ってもらいやすいよう、絵本などジャンルを問 わず設置している 企画展開催時には、企画展の内容に関する本を設置している スタンブノートは館内5カ所のスタンブを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ゾウガメとビラルクへの餌やり体験を実施している 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解説)」を国民決定たら時間に行っていた。 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解説)」を国決まった時間に行っている。 世界カワウソの日に実施した給餌解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守っていこう」という意見に変わった 餌やり体験は1人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完売する 給餌解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる 「FOYER」は、「は1VABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアで ある 「FOYER」は、「間IVABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアで ある 「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度から2時間程度に延長した 「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度から2時間程度に延長した 「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度がら2時間程度に延長した 「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度がら2時間程度に延長した 「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度がら2時間程度に延長した 「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度がら2時間程度に延長した 「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度がら2時間程度に延長した 「FOYER」改装は、オーブン後最も大規模なものとなった		フジナな社会レーナ地会	
アークシートは、団体利用者の約1%が利用している 水槽内の帰除をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を 掲示している 巨大な本棚を中心としたスペース「átou LAB」には、7つのテーマに沿って本が分類・設置されている 体験型アートを楽しむ「GALLERY」では、五感を使って楽しむことができる展示を している ブックディレクターによる本の選定と半年に1回の入れ替え作業が行われている 生き物に興味がない人にも関心を持ってもらいやすいよう、絵本などジャンルを問わず設置している スタンプノートは館内5カ所のスタンプを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ゾウガメとピラルクへの餌やり体験を実施している 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解説)」を毎日決まった時間に行っている 世界カワウソの日に実施した給餌解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守っていこう」という意見に変わった 餌やり体験は1人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完売する 給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは1日回回分間、円柱水槽の魚は過3回10分間行っている 給餌解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる 「FOYER」改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された 「FOYER」は、「MIYABI」「PLAMETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである 「FOYER」は、MIYABI」「PLAMETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである 「FOYER」は、側館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」は、機能から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」は、機能から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」は、機能から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された	づく水族館づくり		
水槽内の掃除をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を掲示している 巨大な本棚を中心としたスペース「針00 LAB」には、7つのテーマに沿って本が分類・設置されている 体験型アートを楽しむ「GALLERY」では、五感を使って楽しむことができる展示をしている アックディレクターによる本の選定と半年に1回の入れ替え作業が行われている 生き物に興味がない人にも関心を持ってもらいやすいよう、絵本などジャンルを問わず設置している 企画展開催時には、企画展の内容に関する本を設置している スタンプートは館内ちカ所のスタンプを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ゾウガメとピラルクへの餌やり体験を実施している 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解説)」を毎日決まった時間に行っている 世界カワウソの日に実施した給解解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守ってい、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守っていこう」という意見に変わった 餌やり体験は1人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完売する 給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは1日1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている 給餌解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる 「FOYER」改装では、多数の本棚と2、500冊の本が設置された 「FOYER」改装では、多数の本棚と2、500冊の本が設置された 「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度から2時間程度に延長した 「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである 「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度から2時間程度に延長した「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」改装後、オープン後最も大規模なものとなった		の天心	
世大な本棚を中心としたスペース「átog LAB」には、7つのテーマに沿って本が分類・設置されている 体験型アートを楽しむ「GALLERY」では、五感を使って楽しむことができる展示をしている でいっかけ作り を映しました。 「GALLERY」では、五感を使って楽しむことができる展示をしている でいっかけれた。 とき物に興味がない人にも関心を持ってもらいやすいよう、絵本などジャンルを問わず設置している 企画展開催時には、企画展の内容に関する本を設置している スタンブノートは館内5カ所のスタンブを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ゾウガメとピラルクへの餌やり体験を実施している 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解説)」を毎日決まった時間に行っている 世界カワウソの日に実施した給餌解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守っていこう」という意見に変わった 餌やり体験は「人刀00円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完売する 給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは「日1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている 給餌解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる 「FOYER」改装では、多数の本棚と2、500冊の本が設置された 「FOYER」改装では、多数の本棚と2、500冊の本が設置された 「FOYER」 改装では、多数の本棚と2、500冊の本が設置された 「FOYER」 改装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した「FOYER」で装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した「FOYER」で装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した「FOYER」で装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した「FOYER」で装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した「FOYER」で装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した「FOYER」で装後、利用客の平均滞在時間が「時間程度から2時間程度に延長した「FOYER」で装後、利用客の平均滞を時間が「時間程度の2024年3月に全面改装された「FOYER」で表述、オープン後最も大規模なものとなった			水槽内の掃除をする生き物にも注目してもらえるように、「お掃除係」の魚名板を
集き物に関心を持つためのきっかけ作り			掲示している
生き物に関心を持つためのきっかけ作り  本験型アートを楽しむ「GALLERY」では、五感を使って楽しむことができる展示をしている フックディレクターによる本の選定と半年に1回の入れ替え作業が行われている 生き物に興味がない人にも関心を持ってもらいやすいよう、絵本などジャンルを問わず設置している			
している ブックディレクターによる本の選定と半年に1回の入れ替え作業が行われている 生き物に興味がない人にも関心を持ってもらいやすいよう、絵本などジャンルを問わず設置している 企画展開催時には、企画展の内容に関する本を設置している スタンプノートは館内5カ所のスタンプを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ゾウガメとピラルクへの餌やり体験を実施している 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解説)」を毎日決まった時間に行っている 世界カワウソの日に実施した給餌解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守っていこう」という意見に変わった 餌やり体験は1人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完売する 給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは1日1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている 給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは1日1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている 給餌解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる 「FOYER」改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された 「FOYER」改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された 「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである 「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」改装は、オープン後最も大規模なものとなった			···
プックディレクターによる本の選定と半年に1回の入れ替え作業が行われている生き物に興味がない人にも関心を持ってもらいやすいよう、絵本などジャンルを問わず設置している 企画展開催時には、企画展の内容に関する本を設置している スタンプノートは館内5カ所のスタンプを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ゾウガメとビラルクへの餌やり体験を実施している実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解説)」を毎日決まった時間に行っている世界カワウソの日に実施した給餌解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守っていこう」という意見に変わった 餌やり体験は1人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完売する 給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは日日1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている 給餌解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる「FOYER」改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである 「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである「FOYER」は、オープン後最も大規模なものとなった		生き物に関心を持つため	
生き物に興味がない人にも関心を持ってもらいやすいよう、絵本などジャンルを問わず設置している 企画展開催時には、企画展の内容に関する本を設置している スタンプノートは館内5カ所のスタンプを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ゾウガメとピラルクへの餌やり体験を実施している 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解説)」を毎日決まった時間に行っている 世界カワウソの日に実施した給餌解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守っていこう」という意見に変わった 餌やり体験はI人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完まする 給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソはI日1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている 給餌解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる 「FOYER」改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された 「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである 「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度から2時間程度に延長した「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された「FOYER」改装は、オープン後最も大規模なものとなった			
中で設置している			
企画展開催時には、企画展の内容に関する本を設置している スタンプノートは館内5カ所のスタンプを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ゾウガメとピラルクへの餌やり体験を実施している 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解 説)」を毎日決まった時間に行っている 世界カワウソの日に実施した給餌解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛 い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守ってい こう」という意見に変わった 餌やり体験は1人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込 む。ほぼ完売する 給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは1日1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている 給餌解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる 「FOYER」改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された 「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアで ある 「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアで ある 「FOYER」は、関館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」改装は、オープン後最も大規模なものとなった			
スタンプノートは館内5カ所のスタンプを集めるプログラムである 有料の体験プログラムとして、ゾウガメとピラルクへの餌やり体験を実施している 実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解説)」を毎日決まった時間に行っている 世界カワウソの日に実施した給餌解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守っていこう」という意見に変わった 餌やり体験は「人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完売する 給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは「日1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている 給餌解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる「FOYER」改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された「FOYER」 改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された「FOYER」改装は、オープン後最も大規模なものとなった			
実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解説)」を毎日決まった時間に行っている   世界カワウソの日に実施した給餌解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守っていこう」という意見に変わった   餌やり体験は 人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完売する  給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは「日1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている  給餌解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる「FOYER」改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された「FOYER」改装は、オープン後最も大規模なものとなった			スタンプノートは館内5カ所のスタンプを集めるプログラムである
説)」を毎日決まった時間に行っている 世界カワウソの日に実施した給餌解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛 い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守ってい こう」という意見に変わった 餌やり体験は I 人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込 む。ほぼ完売する 給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは I 日 I 回 I 0 分間、円柱水槽の魚は週3回 I 0 分間行っている		体験による学び	有料の体験プログラムとして、ゾウガメとピラルクへの餌やり体験を実施している
世界カワウソの日に実施した給餌解説では、アンケートを実施。解説前は「可愛い、飼ってみたい」などの意見が多かったが、解説後は「飼うのではなく守っていこう」という意見に変わった 「毎やり体験は I 人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完売する お餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは I 日1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている			実際の飼育担当が餌やりをしながら解説を行う「フィーディングタイム(給餌解
<ul> <li>体験による学び</li> <li>体験による学び</li> <li>体験による学び</li> <li>(本験による学び)</li> <li>(本験による学び)</li> <li>(国やり体験は1人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完売する</li> <li>(お自解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは1日1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている</li> <li>(お自解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる「FOYER」改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された「FOYER」改装は、オープン後最も大規模なものとなった</li> <li>入場料の値上げによる 2024年3月より顧客満足度向上のため、入場料を2,400円から2,600円へ引き上げた</li> </ul>			
<ul> <li>体験による学び</li> <li>こう」という意見に変わった</li> <li>餌やり体験は   人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完売する</li> <li>給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは   日1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている</li> <li>給餌解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる「F0YER」改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された「F0YER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである「F0YER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである「F0YER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された「F0YER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された「F0YER」改装は、オープン後最も大規模なものとなった</li> <li>入場料の値上げによる 2024年3月より顧客満足度向上のため、入場料を2,400円から2,600円へ引き上げた</li> </ul>			
餌やり体験は   人700円。定員が決まっており、チケット売り場にて先着順で申し込む。ほぼ完売する 給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソは   日1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている 給餌解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる 「F0YER」改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された 「F0YER」改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された 「F0YER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである 「F0YER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである 「F0YER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「F0YER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「F0YER」改装は、オープン後最も大規模なものとなった			
<ul> <li>む。ほぼ完売する</li> <li>給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソはI 日1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている 給餌解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる 「FOYER」改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された 「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである 「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度から2時間程度に延長した 「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」改装は、オープン後最も大規模なものとなった</li> <li>入場料の値上げによる</li> </ul>			1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -
給餌解説の対象生物はペンギン、カワウソ、円柱水槽の魚。ペンギンとカワウソはI 日1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている 給餌解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる 「FOYER」改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された 「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである 「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度から2時間程度に延長した 「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」改装は、オープン後最も大規模なものとなった			
日1回10分間、円柱水槽の魚は週3回10分間行っている 給餌解説のタイミングは館内放送で呼びかけており、多くの来館者が集まる 「F0YER」改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された 「F0YER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである 「F0YER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度から2時間程度に延長した 「F0YER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「F0YER」改装は、オープン後最も大規模なものとなった 入場料の値上げによる 2024年3月より顧客満足度向上のため、入場料を2,400円から2,600円へ引き上げた			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
「FOYER」 改装では、多数の本棚と2,500冊の本が設置された 「FOYER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアで ある 「FOYER」 改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度から2時間程度に延長した 「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された 「FOYER」 改装は、オープン後最も大規模なものとなった 入場料の値上げによる 2024年3月より顧客満足度向上のため、入場料を2,400円から2,600円へ引き上げた			
2024年3月の「F0YER」         「F0YER」は、「MIYABI」「PLANETS」とは異なり、落ち着いた雰囲気のエリアである         でF0YER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度から2時間程度に延長した「F0YER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された「F0YER」改装は、オープン後最も大規模なものとなった         入場料の値上げによる         2024年3月より顧客満足度向上のため、入場料を2,400円から2,600円へ引き上げた			
2024年3月の「FOYER」       ある         改装により、客の滞在時間が延長した       「FOYER」改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度から2時間程度に延長した         「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された         「FOYER」改装は、オープン後最も大規模なものとなった         入場料の値上げによる       2024年3月より顧客満足度向上のため、入場料を2,400円から2,600円へ引き上げた			
改装により、客の滞在時間が任時間が任時間が任時間が任息した       「FOYER」 改装後、利用客の平均滞在時間が1時間程度から2時間程度に延長した「FOYER」は、開館から2年5ヶ月後の2024年3月に全面改装された「FOYER」 改装は、オープン後最も大規模なものとなった         入場料の値上げによる       2024年3月より顧家満足度向上のため、入場料を2,400円から2,600円へ引き上げた		2024年3月の「FOYER」	
「FOYER」改装は、オープン後最も大規模なものとなった		間が延長した	
入場料の値上げによる 2024年3月より顧文満足度向上のため、入場料を2,400円から2,600円へ引き上げた			
サービスの質の向上 は224年3月まり顧各個足及阿上のため、人場科を2,400円から2,000円へ引き上りた		入場料の値上げによる	
		サービスの質の向上	ととて十つ月の 7年代中国に反同上ッパには、八物代とと、400日は、ウと、000日、コロミ上りに

	公式サイトに研究成果を 載せている	公式サイトに論文や発表報告などの研究成果を載せている
四中4日6日-		公式サイトに研究成果を載せることは開館当初から決めていたが、半年~ 年経って
研究成果の開示		から載せるようになった
		エンタメばかりの水族館ではないことを示すために、比較的目につきやすいページ
		に研究成果を載せている  SNSの中でも、ビジュアルが重視されるInstagramには特に力を入れている。おしゃ
		れで思わずいいねを押したくなる写真を目指し、生き物を空間ごと撮るなどの工夫
		や写真加工を取り入れている
		SNS投稿では、フォロワーが見たいと思っているものを考えることが難しい
		日々飼育員へのヒアリングを行いながらSNS投稿を行っている。飼育員では当たり
		前のことが一般の人からすると物珍しく写ることもあるため、そのギャップを面白
		く表現できるような形で投稿している(ペンギンの見分け方クイズなど)
	SNSによる情報発信	正しい内容が投稿できているかということを意識しながらSNS投稿を行っている
	3113による1月1枚元日	Xでは生物と飼育員が関わる様子や企画展の時事的なニュースを主に投稿している
		カワウソの投稿をする場合、可愛さばかりを強調するのではなく、生態や絶滅の危
		機に瀕しているという現状などを含めた内容を発信している
		「MARINE NOTE」というエリアで企画展の撮影をするときは、エリアの色彩が活か
		されるように編集を加えている 体験プログラムは、現地での直接の呼びかけや、館内の掲示板・パネル、サイネー
		体験プログラムは、現地(の直接の呼びかけや、眼内の拘示板・ハネル、サイネー  ジ(動画モニター)で周知している
		SNS(Instagram、Facebook、YouTube)で体験プログラムの発信をしている
		「古代エジプト文明展」や「クリスタル・プラネットー海底のファンタジーアクア
	有名コンテンツや著名人	リウムー」(FINAL FANTASY BRAVE EXVIUSコラボ)はかなりの反響があった
もとめて併せた田		「古代エジプト文明展」では有名考古学者とコラボし、トークショーを開催した
あらゆる媒体を用 いた集客・宣伝	響を呼んだ	宇宙と深海をイメージした幻想的な空間「PLANETS」とエジプトの不思議な歴史を
いた未各・旦仏		つなげたら面白そうだと思い、コラボすることになった
		2024年10月29日にマスコットキャラクター「スピ」が誕生。今後はキャラクターを
		活かしたイベントを企画予定
	親しみやすいキャラク ター	アトアチャッターでは、モニターに映し出された4匹のキャラクターと会話が楽しめ
		3
		アトアチャッターは、客がコミュニケーションをとれるツールとして考えられた
		スタッフには話しかけづらいと感じている人も、気軽に館内案内を聞くことができ  -
		る  キャラクターとの擬似会話を楽しむというプラスアルファの体験をすることができ
		イヤラノターとの探視会話を采しむというプラスアルファの体験をすることができ
		3  館内8ゾーンをフォトウェディングの撮影のために提供。貸し切りのため好評で、
		VOYAGE KOBE (ブライダルデスク) との共同事業。水族館好きの人がよく利用する
	独自の世界観を活かした	YouTubeの商用利用やMV撮影のためのレンタルも行っている
	ロケーションレンタル サービスの提供	FINAL FANTASY BRAVE EXVIUSコラボでは、企業依頼によりコスプレイヤーのコス
		プレ撮影を館内で行った
		プロポーズの舞台として球体水層のあるエリアを30分間貸し切りにしたこともあっ
	72 th 40 de abrido de 20 10 de 6de	<i>t</i> -
	魚朱印を実施する水族館   として登録されている	魚朱印を実施する水族館として登録されている
	こして豆跡ごれている	   felissimo chocolate museumやみなと温泉蓮などの周辺施設とのセット券を販売
		している
		地元企業と共に商品開発を行い、コラボグッズを販売している
		「MARINE NOTE」にて兵庫県立美術館と「石村嘉成展」をコラボ開催した
地域との関わり	地元産業への貢献	神戸市立博物館と共同提供しているサービスとして、半券を見せることでそれぞれ
かられて ひぼりり		の入場料が割引されたりノベルティをもらえるといったものがある
		神戸阪急で開催の「アート海展」、阪神梅田本店で開催の「海のいきもの展」に参
		加し、オリジナルグッズを販売したりワークショップを開催した
		野外イベント(神戸グルメディスカバリー)に初参加し、塗り絵や缶バッジづくり
		が体験できるワークショップを開催した 関館から2年8ヶ日で車館者数が200万人を招えた
	来館者数や利用時間、利	開館から2年9ヶ月で来館者数が200万人を超えた 2024年大規模改装により、来館者の滞在時間が1時間から2時間程度に延長した
集客の成果	用回数が増加した	全パス利用者の  日あたりのリピート回数が増加した
<b>木谷い</b> 枫木	<u></u>	<b>40~40代女性の利用者が多い</b>
	若い女性に人気	メインターゲットはファミリー層ではなく、10~30代の女性
	フタンプリーリナング	スタンプノートはお土産として持ち帰りやすいようデザインにかなりこだわって作
課題	スタンプノートはこだ  わったデザインだが、利	5nt
<b></b>	わったチャインたか、利     用者はそれほど多くない	スタンプノートは、入館者の約1%が利用している
	用省は(10はこダンない	スタンプノートは、1枚500円。来場記念として購入する客が多い